

2024年3月14日

村山 顕人 (むらやま あきと / MURAYAMA Akito) (47歳)

博士 (工学) | EcoDistricts AP

東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 都市計画研究室 准教授  
東京大学 気候と社会連携研究機構 (兼任)



〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 工学部 14 号館 1102 号室  
Phone: 03-5841-6370 (直通) Fax: 03-5841-6264 (共通)  
E-mail: murayama@up.t.u-tokyo.ac.jp  
Web Site: <http://up.t.u-tokyo.ac.jp/murayama/index-j.html>

## I. 概要

専門は、都市計画 (土地利用計画・市街地整備・マスタープラン)、公共政策としての都市デザイン、計画策定技法。最近は、都市計画分野の気候変動緩和・適応策、持続性評価を組み込んだ都市・地区の計画・デザイン手法、エコディストリクトに関心がある。

埼玉県川越市出身。2004年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了、博士 (工学)。東京大学国際都市再生研究センター特任研究員を経て、2006年10月から2014年3月まで名古屋大学大学院環境学研究所都市環境学専攻助教授・准教授 (工学部環境土木・建築学科/減災連携研究センター兼務)。2014年4月から東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授。2022年8月から東京大学気候と社会連携研究機構を兼任。

2004年に日本都市計画学会論文奨励賞、2013年に日本木材青壮年団体連合会第16回木材活用コンクール第4部門 (ランドスケープ・インスタレーション) 賞共同受賞、2015年度日本環境共生学会学会賞「著述賞」共同受賞、2017年に平成29年度まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰共同受賞、2018年にAESOP (Association of European Schools of Planning) Excellence in Teaching Award 2018 共同受賞、2022年に鈴鹿市市政功労表彰。

共著に、「都市のデザインマネジメント: アメリカの都市を再編する新しい公共体」(学芸出版社, 2002年)、「世界のSSD100: 都市持続再生のツボ」(彰国社, 2008年)「都市・地域の持続可能性アセスメント: 人口減少時代のプランニングシステム」(学芸出版社, 2015年)、「都市計画学: 変化に対応するプランニング」(学芸出版社, 2018年)、「都市計画の構造転換: 整・開・保からマネジメント」(鹿島出版会, 2021)、「都心周縁コミュニティの再生術: 既成市街地への臨床学的アプローチ」(学芸出版社, 2021年)、「Living Cities in Japan: Citizens' Movements, Machizukuri and Local Environments」(Routledge, 2007年)、「Innovations in Collaborative Urban Regeneration」(Springer, 2009年)、「Basic and Clinical Environmental Approaches in Landscape Planning」(Springer, 2014年)、「Towards the Implementation of the New Urban Agenda: Contributions from Japan and Germany to Make Cities More Environmentally Sustainable」(Springer, 2018年)、「Urban Systems Design: Creating Sustainable Smart Cities in the Internet of Things Era」(Elsevier, 2020) など。

現在、国土交通省社会資本整備審議会都市計画基本問題小委員会専門委員、千葉県都市計画審議会会長職務代理、横須賀市都市計画専門委員・都市計画審議会会長、西東京市都市計画審議会会長、三郷市都市計画審議会会長、芝山町都市計画審議会会長・都市計画マスタープラン策定委員会委員長、鎌倉市都市政策専門委員・都市計画審議会副会長、低炭素都市なごや戦略実行計画の改定に係る有識者懇談会委員、東京都豊島区環境審議会委員、東京都世田谷区環境審議会委員、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 CASBEE 街区認証委員会委員、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会 (ABINC) 理事・認証委員会委員などに就任中。

## II. 専門分野・学歴・職歴等

### ■専門分野

都市計画 (土地利用計画・市街地整備)、公共政策としての都市デザイン、計画策定技法 (方法と技術)。最近は、都市計画分野の気候変動緩和・適応策、都市・地区の持続性評価を組み込んだ都市計画・デザイン技法、エコディストリクト等に関心がある。

### ■学歴

1983.04: 埼玉県川越市立霞ヶ関南小学校在籍 (～1987.02)  
1989.03: ロスアンゼルス国際学園小学部卒業 (Hermosa Beach, California, U.S.A.)  
1989.06: Worthington Estates Elementary School 卒業 (Worthington, Ohio, U.S.A.)  
1991.06: Perry Middle School 卒業 (Worthington, Ohio, U.S.A.)  
1991.08: Thomas Worthington High School 在籍 (Worthington, Ohio, U.S.A.) (～1991.11)  
1992.03: 埼玉県川越市立霞ヶ関西中学校卒業  
1995.03: 埼玉県私立西武学園文理高等学校普通科卒業  
1999.03: 東京大学工学部都市工学科卒業  
2001.03: 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了  
2004.03: 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了、博士 (工学) 学位取得 (東京大学では都市計画 (大方潤一郎・小泉秀樹) 研究室に所属)

### ■職歴

2003.06: 東京電機大学工学部建築学科都市計画 (西山康雄) 研究室非常勤助手 (～2004.03)  
2004.04: 東京大学大学院工学系研究科国際都市再生研究センター研究拠点形成特任研究員 (21世紀COEプログラム「都市空間の持続再生学の創出」) (～2006.09)  
2006.10: 名古屋大学大学院環境学研究所都市環境学専攻助教授 (工学部社会環境工学科 兼務) (～2007.03)  
2006.10: 東京大学大学院工学系研究科国際都市再生研究センター客員研究員 (～2007.03)  
2007.04: 名古屋大学大学院環境学研究所都市環境学専攻准教授 (配置換) (工学部社会環境工学科兼務) (～2014.3)  
2007.04: 財団法人名古屋都市センター調査課特別研究員 (～2008.03)  
2009.04: 名古屋大学 GCOE「地球学から基礎・臨床環境学への展開」協力教員 (～2014.3)  
2011.06: 名古屋大学減災連携研究センター兼務 (～2014.3)

- 2013.04：早稲田大学創造理工学部非常勤講師（創造理工学部国際コース・Fundamentals of Urban Studies and Planning 担当）（～2013.09）
- 2014.04：名古屋大学非常勤講師/招へい教員（～2015.09）
- 2014.04：東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授、現在に至る
- 2021.04：東京都立大学都市政策科学科非常勤講師（～2021.05）
- 2021.04：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科非常勤講師、現在に至る
- 2022.08：東京大学気候と社会連携研究機構（兼担）、現在に至る

#### ■所属学会等

日本都市計画学会  
 日本建築学会  
 環境科学会  
 都市住宅学会  
 日本生活学会  
 日本都市計画家協会  
 都市環境デザイン会議  
 全国エリアマネジメントネットワーク  
 一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（ABINC）  
 グリーンインフラプラットフォーム  
 世田谷ポータル都市文化交流協会  
 EcoDistricts  
 EcoUrbanism Research Network <https://ecourbanismresearchnetwork.com>  
 International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration

#### III. 研究業績

##### ■原著論文（査読あり）

- 1) Yudi Liu, Rikutarō Manabe, Ryoichi Nitanaï, Akito Murayama\*: Historical institutionalism in action: Incremental prevalence of Transit-Oriented Development in Tokyo 1945-1982, *Progress in Planning*, 2024, 100850, <https://doi.org/10.1016/j.progress.2024.100850>
- 2) Nabamita Nath, Ryoichi Nitanaï, Rikutarō Manabe, Akito Murayama\*: A global-scale review of smart city practice and research focusing on residential neighbourhoods, *Habitat International*, Volume 142, December 2023, 102963, <https://doi.org/10.1016/j.habitatint.2023.102963>
- 3) 山崎潤也, 若月泰孝, 飯塚悟, 吉田崇紘, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 気候変動下の SSP・RCP 別将来像に基づく市街地の夏季温度分布の日変化解析, *都市計画論文集*, Vol.58, no.3, pp.835-842, 2023.10, <https://doi.org/10.11361/journalcpj.58.835>
- 4) 永末圭佑, 山崎潤也, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 人口減少・災害リスクに対応した逆線引きの実態と課題－舞鶴市・北九州市・広島県の取り組みの比較と住民意見の分析から, *都市計画論文集*, Vol.58, no.3, pp.1203-1210, 2023.10, <https://doi.org/10.11361/journalcpj.58.1203>
- 5) 深谷麻衣, 山崎潤也, 吉田崇紘, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 社会課題の解決に向けたエリアマネジメント活動の実態と展望－日本国内の先進的な事例の調査を通じて, *都市計画論文集*, Vol.58, no.3, pp.1320-1327, 2023.10, <https://doi.org/10.11361/journalcpj.58.1320>
- 6) 山崎潤也, Wu Wenchao, 吉田崇紘, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 日本の土地利用構成の SSP 別将来推移を対象とした環境影響評価: LCIA 手法 LIME3 を用いた評価と課題, *環境科学会誌*, Vol.36, No.4, pp.135-144, 2023, <https://doi.org/10.11353/esej.36.135>
- 7) 小松俊也, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 資源管理法制度改革にみるニュージーランドの都市農村計画制度の課題と展開: 資源管理審査委員会報告書と3つの事例の分析, *都市計画論文集*, Vol.58, no.1, pp.127-134, 2023.4, <https://doi.org/10.11361/journalcpj.58.127>
- 8) Yudi Liu, Ryoichi Nitanaï, Rikutarō Manabe and Akito Murayama\*: Institutionalization of Transit-Oriented Development in Tokyo 1868-1945, *Planning Perspectives*, Published online: 13 Mar 2023, <https://doi.org/10.1080/02665433.2023.2177184>
- 9) Yudi Liu, Akito Murayama, Rikutarō Manabe and Ryoichi Nitanaï: Transit-Oriented Development in Planning History: A West-East Dialogue in Regaining Social Goals, *Urban and Regional Planning Review*, Vol.10, pp.94-120, 2023, <https://doi.org/10.14398/urpr.10.94>
- 10) 山崎潤也, 増渕正博, 飯塚悟, 吉田崇紘, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: Project PLATEAU の3D都市モデルを利用した都心市街地の温熱環境シミュレーション: 地区スケールの暑熱適応まちづくりに向けて, *環境情報科学論文集*, Vol.36, p.238-243, 2022.12, [https://doi.org/10.11492/ceispapers.ceis36.0\\_238](https://doi.org/10.11492/ceispapers.ceis36.0_238)
- 11) 山崎潤也, 増渕正博, 若月泰孝, 飯塚悟, 吉田崇紘, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 気候変動下の都心市街地における SSP・RCP 別将来像を対象とした温熱環境シミュレーション: 名古屋市中区錦二丁目地区に着目して, *都市計画論文集*, Vol.57, no.3, pp.949-956, 2022.10, <https://doi.org/10.11361/journalcpj.57.949>
- 12) Younghun Choi, Takuro Kobashi, Yoshiki Yamagata, Akito Murayama: Assessment of waterfront office redevelopment plan on optimal building energy demand and rooftop photovoltaics for urban decarbonization, *Energies* 2022, 15, 883, <https://doi.org/10.3390/en15030883>
- 13) 保坂朋輝・山崎潤也・吉田崇紘・似内遼一・真鍋陸太郎・村山顕人: 英仏自治体における都市計画関連分野の気候変動適応策の枠組み: 8つの先進的な Climate Change Action Plans の施策内容分析から, *都市計画論文集*, Vol.57, no.1, pp.138-150, 2022.4, <https://doi.org/10.11361/journalcpj.57.138>
- 14) Takuo Inoue, Rikutarō Manabe, Akito Murayama, and Hideki Koizumi: Landscape value in urban neighborhoods: A pilot analysis using street-level images, *Landscape and Urban Planning*, 221, 104357, 2022, <https://doi.org/10.1016/j.landurbplan.2022.104357>
- 15) Yudi Liu, Nabamita Nath, Akito Murayama, Rikutarō Manabe: Transit-oriented development with urban sprawl? Four phases of urban growth and policy intervention in Tokyo, *Land Use Policy*, Volume 112, January 2022, 105854, <https://doi.org/10.1016/j.landusepol.2021.105854>
- 16) 深谷麻衣, 山崎潤也, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 吉田崇紘, 村山顕人: 分譲マンション団地と周辺地区の環境の経年的変化, *都市計画論文集*, Vol.56, no.3, pp.905-912, 2021.10, <https://doi.org/10.11361/journalcpj.56.905>
- 17) Yamazaki, Takahiro, Akiko Iida, Kimihiro Hino, Akito Murayama, U Hiroi, Toru Terada, Hideki Koizumi, and Makoto Yokohari. 2021. "Use of Urban Green Spaces in the Context of Lifestyle Changes during the COVID-19 Pandemic in Tokyo" *Sustainability* 13, no. 17: 9817. <https://doi.org/10.3390/su13179817>
- 18) 松村優, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 郊外計画住宅地における高齢者が外出しやすい市街地環境: 松戸市小金原地域を対象に, *都市計画論文集*, Vol.56, No.1, pp.24-31, 2021.4
- 19) Junya Yamasaki, Norihiro Itsubo, Akito Murayama, Ryoichi Nitanaï: Eco-efficiency assessment of 42 countries' administrative divisions based on environmental impact and gross regional product, *City and Environment Interactions* 10, 2021, <https://doi.org/10.1016/j.cacint.2021.100061>
- 20) 中島弘貴, 森田紘圭, 名畑恵, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 地域の制度的環境が創発する小規模事業を通じた既成市街地の再生: 錦二丁目長者町まちづくりの事例分析, *都市計画論文集*, vol.55, no.2, pp.85-93, 2020.10

- 21) 保坂朋輝, 村山顕人, 真鍋陸太郎: フランスの持続可能な地区開発3事例にみる市街地形態と環境配慮型技術, 都市計画論文集, vol.55, no.3, pp. 205-212, 2020.10
- 22) 秋月優里, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 小泉秀樹: 移動型サービスを受け入れる都市空間のあり方, 都市計画論文集, vol.55, no.3, pp. 303-310, 2020.10
- 23) 木村達之, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 東京圏における農住混在空間の実態分析, 都市計画論文集, vol.55, no.3, pp. 311-316, 2020.10
- 24) 久保夏樹, 村山顕人, 真鍋陸太郎: エコディストリクト認証制度の成立過程と適用事例の実態, 都市計画論文集, vol.55, no.3, pp. 976-983, 2020.10
- 25) 井上拓央, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 小泉秀樹: 景観的価値の主観的評価から推定される「場所の価値」に基づく地区分析, vol.55, no.3, pp. 1372-1377, 2020.10
- 26) 高山広太郎, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 都心居住促進を目的とする緩和型地区計画の効果: 東京都千代田区中神田中央地区の用途別容積型地区計画と街並み誘導型地区計画を併用した地区計画を対象に, 都市計画論文集, vol.54, no.3, pp. 429-434, 2019.10
- 27) 西井成志, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 立地適正化計画における居住誘導区域設定の考え方とその背景: 市街化区域に対する居住誘導区域の面積比率が対照的な自治体の比較を通じて, 都市計画論文集, vol.54, no.3, pp. 532-538, 2019.10
- 28) 中島弘貴, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 複数の社会的企業による小規模事業を通じた既成市街地の再生: 神田・馬喰町駅周辺を舞台とする Central East Tokyo(CET)プロジェクトの事例分析, 都市計画論文集, vol.54, no.3, pp. 607-614, 2019.10
- 29) 渡辺隆太郎・真鍋陸太郎, 村山顕人・小泉秀樹: 超高齢化が進む首都圏郊外戸建住宅地における土地利用・所有権の変化と転入者特性: 上郷ネオポリスにおける全戸悉皆調査から, 都市計画論文集, vol.54, no.3, pp. 864-869, 2019.10
- 30) 森田絃圭, 稲永哲, 青木英輔, 村山顕人: 居住・就業環境が個人の生活行動と健康及び知的生産性に与える影響の分析, 土木学会論文集 D3 (土木計画学), vol.74, no.5, pp.1-399-1-407, 2018
- 31) 木村達之, 大方潤一郎, 村山顕人, 真鍋陸太郎: 西東京市における農住混在市街地の土地利用変化に関する研究, 都市計画論文集, vol.53, no.3, pp. 516-521, 2018.10
- 32) 中島弘貴, 村山顕人, 真鍋陸太郎: 小規模不動産事業を通じた既成市街地再生を目指す社会的企業の可能性と課題, 都市計画論文集, vol.53, no.3, pp. 748-755, 2018.10
- 33) 船本歩, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎: 都市スケール持続可能性評価ツールの比較分析, 都市計画論文集, vol.53, no.3, pp. 1117-1122, 2018.10
- 34) 田崎智之, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎: 首都圏郊外部における学校を中心とした地域公共施設再編の検討手法, 都市計画論文集, vol.53, no.3, pp. 1283-1288, 2018.10
- 35) 海老原学, 森田絃圭, 村山顕人: 日本の生物多様性を保全するための都市開発における緑化認証制度の比較に関する研究, ランドスケープ研究, Vol.85, No.5, 709-714, 2018
- 36) 村山顕人・森田絃圭: 低炭素街区群デザイン研究の既成市街地への社会実装プロセス: 錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト, 地球環境, vol.22, no.2, pp.167-174, 2017
- 37) 森田絃圭・加藤博和・杉本賢二・林良嗣・村山顕人: 漸次的な街区群の再構築によるクオリティストック化と低炭素化の同時実現手法, 地球環境, vol.22, no.2, pp.153-166, 2017
- 38) 堀裕典・村山顕人・小泉秀樹: バンクーバー市都心部における容積移転制度を活用した開発手法とその運用: 既存の開発許可プロセスを通じた歴史的建造物容積バンクからのボーナス取得, 都市計画論文集, vol.52, no.3, pp.617-623, 2017.10
- 39) 圓山王国, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎: 転換期にある織維間屋街の空間変容と再生の取り組みに関する研究: 東京東神田・馬喰町地区と名古屋錦二丁目地区を対象として, 都市計画論文集, vol.52, no.2, pp. 161-168, 2017.10
- 40) 森田絃圭, 村山顕人, 稲永哲, 藤森幹人, 延藤安弘: 地域主導型低炭素まちづくりに関する発展的循環プロセス: 錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクトの事例分析, 都市計画論文集, vol.51, no.3, pp. 444-451, 2016.10
- 41) 田崎智之, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎: 人口減少時代を見据えた自治体の人口・土地利用フレーム設定に関する研究: 愛知県内12自治体の都市マスタープランの分析を通じて, 都市計画論文集, vol.51, no.3, pp. 546-552, 2016.10
- 42) 川口暢子, 高取千佳, 村山顕人, 清水裕之: 都市における景観管理作業量推計手法の提案: 名古屋市内の緑地を対象としたケーススタディ, 都市計画論文集, vol.51, no.3, pp. 581-588, 2016.10
- 43) 森田絃圭, 稲永哲, 青木英輔, 村山顕人, 藤森幹人, 名畑恵, 延藤安弘: 都市部における地産地消マルシェの開催によるCO2排出削減効果の分析, 社会技術研究論文集, vol.13, pp.32-42, 2016.5
- 44) 村山顕人, 森田絃圭, 藤森幹人, 延藤安弘: 既成市街地におけるまちづくりを通じた自治体低炭素都市戦略の実現: 名古屋市と錦二丁目低炭素モデル地区の取り組みの現状と課題, 都市計画論文集, vol.51, no.1, pp.40-45, 2016
- 45) U Hiroi, Akito Murayama, Yoshihiro Chiba, Hisashi Komatsu, Masafumi Mori, Keiichi Yamada, Masato Yamazaki and Nobuo Fukuwa: A Proposal of Multi-Scale Urban Disaster Mitigation Planning that Takes Regional Issues into Consideration, Journal of Disaster Research, Vol.10, No.5, pp.887-899, 2015
- 46) 山内健史, 大方潤一郎, 小泉秀樹, 村山顕人, 真鍋陸太郎: 都市再生特別地区の公共貢献検討過程の実態に関する研究, 都市計画論文集, vol.50, no.3, pp.904-911, 2015
- 47) 川口暢子, 清水裕之, 村山顕人, 高取千佳: 名古屋市における街区ごとに見る非建蔽地の開放性・単純性と緑被規模の関係と分布の特徴, 都市計画論文集, vol.50, no.3, pp.509-516, 2015
- 48) 森田絃圭, 稲永哲, 藤森幹人, 村山顕人, 延藤安弘: 木材を活用した歩道拡幅社会実験による自動車交通と歩行行動への影響分析, 都市計画論文集, vol.50, no.3, pp.709-714, 2015
- 49) 柴田淳志, 伊藤夏樹, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: 中核市・特例市レベルの地方都市中心市街地における人口変動の様相, 都市住宅学会第22回学術講演会研究発表論文集(都市住宅学2014秋 no.87), pp.92-97, 2014
- 50) 川口暢子, 村山顕人, 清水裕之, 高取千佳: 名古屋市における街区ごとに見る非建蔽地/緑被地規模・変化の実態と分布の特徴, 都市計画論文集, vol.49, no.3, pp. 207-212, 2014
- 51) Ayyoob Sharifi, Yoshihiro Chiba, Kohei Okamoto, Satoshi Yokoyama, Akito Murayama: Can master planning control and regulate urban growth in Vientiane, Laos?, Landscape and Urban Planning, Volume 131, November 2014, pp.1-13, <http://dx.doi.org/10.1016/j.landurbplan.2014.07.014>
- 52) 澤寄裕樹, 村山顕人, 清水裕之: ニューオーリンズ市統合計画 (UNOP) の策定に見る復興計画策定技法, 日本建築学会技術報告集, 第45号 (2014年6月号) pp. 735-740
- 53) Ayyoob Sharifi, Akito Murayama: Neighborhood Sustainability Assessment in Action: Cross-Evaluation of Three Assessment Systems and Their Cases from the US, the UK, and Japan, Building and Environment, vol.72, pp. 243-258, February 2014, <http://dx.doi.org/10.1016/j.buildenv.2013.11.006>
- 54) Ayyoob Sharifi, Akito Murayama: Viability of Using Global Standards for Neighbourhood Sustainability Assessment: Insights from a Comparative Case Study, Journal of Environmental Planning and Management, January 2014, <http://dx.doi.org/10.1080/09640568.2013.866077>
- 55) 森田絃圭, 杉本賢二, 加藤博和, 村山顕人, 飯塚悟, 柴原尚希, 林良嗣: 4D-GISを用いた地区統合環境性能評価モデルの構築, 土木学会論文集 D3 (土木計画学),

- vol.69, no.5, pp.297-308, 2013
- 56) 森田紘圭, 加藤博和, 村山顕人, 柴原尚希, 林良嗣: クオリティ・ストックの実現に向けた街区群の動学的更新・評価モデルの構築: 名古屋市中区錦二丁目地区を対象として, 都市計画論文集, vol.48, no.3, pp.1071-1076, 2013
  - 57) 高木淳二, 村山顕人, 清水裕之: 集水域分析に基づく景観計画単位の設定技法, 日本建築学会技術報告集, vol.19, no.42, pp.731-736, 2013
  - 58) Ayyoob Sharifi, Akito Murayama: A critical review of seven selected neighborhood sustainability assessment tools, *Environmental Impact Assessment Review*, no.38, pp.73-87, 2013, <https://doi.org/10.1016/j.eiar.2012.06.006>
  - 59) Ayyoob Sharifi, Akito Murayama: Changes in the traditional urban form and the social sustainability of contemporary cities: A case study of Iranian cities, *Habitat International*, vol.38, April 2013, pp.126-134, 2013, <https://doi.org/10.1016/j.habitatint.2012.05.007>
  - 60) 辻裕美子, 村山顕人, 清水裕之: 都心商業地における緑被の実態と建替を考慮した緑化の可能性: 名古屋市長栄-伏見間の広小路通沿道街区を対象として, 都市計画論文集, Vol.47, No.3, pp.253-258, 2012
  - 61) Elnaz Sarkheyl, Ayyoob Sharifi, Mojtaba Rafieian, Mohammad reza Bemanian, Akito Murayama: An investigation of the reasons for non-compliance with FAR regulations in Tehran, *Cities*, vol.29, no.4, pp.223-233, 2011, <https://doi.org/10.1016/j.cities.2011.09.004>
  - 62) 井上薫, 杉本南, 大西暁生, 清水裕之, 村山顕人, 大月淳: グリーンインフラストラクチャの概念を用いた浸透性街路空間デザインへの導入効果, 日本建築学会計画系論文集, Vol. 76, No.660, pp.335-340, 2011
  - 63) 木下光, 清水裕之, 村山顕人: 養蚕業の影響を受けた南信州・古民家の大改修における構法面からの考察, 日本建築学会計画系論文集, Vol.76, No.666, pp.1347-1356, 2011
  - 64) 山内悠生, 杉本南, 大西暁生, 清水裕之, 村山顕人: 境川流域における土地利用変化と河川流出量変化に関する研究, 都市計画論文集, Vol.45, No.3, pp.655-660, 2010
  - 65) 杉本南, 大西暁生, 清水裕之, 村山顕人, 大月淳: 愛知県内三流域における土地利用変化による河川流出量の抑制効果の考察, 日本建築学会技術報告集, Vol.16, No.33, 689-692, 2010
  - 66) 川本直義, 清水裕之, 村山顕人, 大月淳: 公共施設における開かれた利便供与の枠組みに関する研究: 市民吹奏楽団を題材とした考察, 文化経済学, Vol.7, No.2, pp.17-30, 2010
  - 67) 飯田純子, 板谷明美, 石川知明, 大西暁生, 村山顕人, 清水裕之: 緑地特性と地表温度との関係: 衛星画像を用いた解析, 中部森林研究, No.58, pp.103-106, 2010
  - 68) 木下光, 清水裕之, 村山顕人, 大月淳: 養蚕業の影響を受けた南信州・古民家の空間機能の変化と大改修, 日本建築学会計画系論文集, Vol.75, No.649, pp.41-549, 2010
  - 69) 今井悠貴, 板谷明美, 石川知明, 村山顕人, 清水裕之: 水みちネットワークを考えた景観連続性の評価: 愛知県長久手町およびその周辺の森林を対象として, 中部森林研究, no.57, pp.219-222, 2009
  - 70) 南順一朗, 清水裕之, 村山顕人, 白井直之: 伊勢湾流域圏における土地利用の検討のための流域水収支モデルの考察, 日本建築学会技術報告集, No.29, pp.239-244, 2009
  - 71) 井上薫, 清水裕之, 大月淳, 村山顕人: GISを用いた市街地の『水みちネットワーク』把握手法の開発, 日本建築学会計画系論文集, Vol.74, No.635, pp.107-112, 2009
  - 72) 白井直之, 清水裕之, 村山顕人, 南順一朗: 伊勢湾流域圏における都市的土地被覆図の作成とその活用可能性, 日本建築学会計画系論文集, Vol.73, No.634, pp.2647-2654, 2008
  - 73) 恒川浩一, 板谷明美, 石川知明, 村山顕人, 清水裕之: 三重県津市の都市近郊林における竹林の分布, 中部森林研究, No.56, pp.169-172, 2008
  - 74) 澤美怜, 板谷明美, 石川知明, 村山顕人, 清水裕之: 子供たちの身近な森林環境: 都

- 市へのアクセシビリティの評価, 中部森林研究, No.56, pp.173-175, 2008
- 75) 關佑也, 西村幸夫, 北沢猛, 窪田亜矢, 遠藤新, 村山顕人: 法的拘束力を伴うデザイン審査の運用実態に関する研究: 米国オレゴン州ポートランド市のデザインレビューを事例に, 日本建築学会計画系論文集, No.610, pp.117-124, 2006
  - 76) 村山顕人, 川口高志, 清水哲夫: 大規模工業・港湾地区の再生に向けた空間計画の枠組みに関する考察: イギリス・ロンドン及びオランダ・ロッテルダム事例分析から, 都市計画論文集, Vol.41, No.3, pp.719-724, 2006
  - 77) 真鍋陸太郎, 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: インターネット地図型掲示板での情報の収集・蓄積と議論の展開: 三鷹市基本計画改定でのe コミュニティカルテの運用を事例に, 都市計画論文集, Vol.40, No.3, pp.85-90, 2005
  - 78) 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: ダウンタウン・シアトル土地利用・交通プランの策定に見る都市空間計画策定技法, 都市計画論文集, Vol.39, No.3, pp.283-288, 2004
  - 79) 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: 都市空間計画策定における空間的解決策の導出技法: 米国オレゴン州ポートランド・セントラル・シティ計画の事例分析, 都市計画論文集, Vol.38, No.3, pp.829-834, 2003
  - 80) 村山顕人, 小泉秀樹, 秋田典子, 大方潤一郎: 土地利用計画策定手続きと環境アセスメント手続きの統合に向けて -米国ワシントン州の環境アセスメント制度の事例研究-, 都市計画論文集, Vol.37, No.3, pp.751-756, 2002
  - 81) 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎: シアトル市ダウンタウンの空間形成を巡る議論と活動の展開過程: 1960年-2000年, 都市計画論文集, Vol.36, No.3, pp.307-312, 2001

#### ■ 著書、編書

##### ◆ 学術書

- 1) Keisuke Sakamoto, Takahiro Yamazaki, Toru Terada, Noriko Akita, Akito Murayama, Akiko Iida, Marco Amati, Makoto Yokohari: Polarized Residential Preferences for the Centre and Outer Suburban Tokyo After the Experience of COVID-19, in Barbara Rief Vernay, Iris Mach (Eds.): *How Pandemics Shape the Metropolitan Space: Impact of COVID-19 on Urban Development in Vienna and Tokyo*, pp.41-73, LIT, 2023
- 2) 村山顕人・久保夏樹: エコディストリクト: 1つ1つの意思決定において人々と地球を中心に据える枠組み, 泉山壘威・宋 俊煥・大藪善久・矢野拓洋・林匡宏・村上早紀子・一般社団法人ソトノバ・パブリックスペース活用学研究会編著: *パブリックスペース活用辞典: 図解: 公共空間を使いこなすための制度とルール*, pp.156-159, 学芸出版社, 2023.12
- 3) 公益財団法人日本都市センター編, 卯月盛夫・阿部大輔・岡井有佳・藤井さやか・村山顕人・高野裕作著: *地域社会のグローバル化を見据えた包摂・共生のまちづくり〜欧州・北米のコミュニティ再生と日本における可能性*, 2023
- 4) 村山顕人: 都市・コミュニティの新たな計画論の形成へ, 林良嗣・森田紘圭編: *感染症とソーシャルディスタンス*, pp.134-149, 明石書店, 2022.12
- 5) 山村崇, 村山顕人, 益尾孝祐, 市古太郎, 坂井遼, 中島弘貴, 福岡孝則, 藤井正男, 藤賀雅人, 圓山王国, 森重幸子, 日本建築学会編: *都心周縁コミュニティの再生術: 既成市街地への臨床学的アプローチ*, 学芸出版社, 2021.12
- 6) Inoue T., Manabe R., Murayama A., Koizumi H. (2021) Aggregation of Geospatial Data on "Street Units": The Smallest Geographical Unit of Urban Places. In: Geertman S.C.M., Pettit C., Goodspeed R., Staffans A. (eds) *Urban Informatics and Future Cities*. The Urban Book Series. Springer, Cham. [https://doi.org/10.1007/978-3-030-76059-5\\_25](https://doi.org/10.1007/978-3-030-76059-5_25)
- 7) 村山顕人: 都市プランニングの変革とタクティカル・アーバニズム, 泉山壘威, 田村康一郎, 矢野拓洋, 西田 司, 山崎嵩拓, ソトノバ編: *タクティカル・アーバニズム: 小さなアクションから都市を大きく変える*, pp.60-65, 学芸出版社, 2021.6

- 8) 村山顕人：持続性と都市計画，日本都市計画学会編著：都市計画の構造転換：整・開・保からマネジメントまで，pp.354-363，鹿島出版会，2021.3
- 9) 村山顕人：グリーンインフラによる都市の再構築，グリーンインフラ研究会・三菱UFJリサーチ&コンサルティング・日経コンストラクション編：実践版！グリーンインフラ，pp.194-204，日経BP，2020.7
- 10) Akito Murayama：Institutional Instruments for Urban Systems Design – from the Planner’s Perspective，Yoshiki Yamagata and Perry Yang eds.: Urban Systems Design: Creating Sustainable Smart Cities in the Internet of Things Era, Elsevier, 2020
- 11) Makoto Yokohari, Akito Murayama and Toru Terada：The Value of Grey, Takashi Mino and Shogo Kudo eds.: Framing in Sustainability Science: Theoretical and Practical Approaches, pp.57-96, Springer, 2020, [https://doi.org/10.1007/978-981-13-9061-6\\_4](https://doi.org/10.1007/978-981-13-9061-6_4)
- 12) Akito Murayama: Le projet Nishiki 2 low-carbon District, Nagoya, Cedissia About, Claire Doussard and Meg Holden eds.: (re)Penser la ville du XXIe siècle - 20 ans d'ecoquartiers dans le monde, Dunod, pp.111-121, 2019
- 13) 村山顕人：ポータルランドで始まったエコディストリクトのアプローチについて，伊藤滋・尾島俊雄・村山顕人・西田裕子・野田由美子・小澤一郎・村上公哉・高口洋人著：エコまち塾3海外編，鹿島出版会，pp.7-37，2019
- 14) 村山顕人：名古屋市の長者町ウッドテラス：地域主導型社会実験の発展的循環プロセス，出口敦・三浦詩乃・中野卓編著：ストリートデザイン・マネジメント：公共空間を活用する制度・組織・プロセス，学芸出版社，pp.130-133，2019
- 15) 村山顕人：霞が関ビルディングの考察・都市計画，霞が関ビルディング50周年記念誌編集委員会：霞が関ビルディング，pp.96-133，2018，三井不動産株式会社
- 16) Akito Murayama: Reconsidering Urban Planning Through Community-based Initiatives, Bernhard Müller and Hiroyuki Shimizu eds.: Towards the Implementation of the New Urban Agenda: Contributions from Japan and Germany to Make Cities More Environmentally Sustainable, Springer, pp. 223-233, 2018
- 17) 村山顕人：日常生活空間の再構成，トマス・ジーバーツ著，養原敬監訳：「間にある都市」の思想：拡散する生活域のデザイン，水曜社，pp.89-107，2017（再版）
- 18) 伊藤守・小泉秀樹・三本松政之・似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・日高昭夫・吉原直樹（編集），村山顕人ほか（編集協力+執筆）：コミュニティ事典，春風社，2017
- 19) Akito Murayama: Urban Landscape: Urban Planning Policies and Institutional Framework / Nobuko Kawaguchi and Akito Murayama: Urban Planning: Is a Networked Compact City Vision Realistic?, Hiroyuki Shimizu, Chika Takatori and Nobuko Kawaguchi eds.: Labor Forces and Landscape Management: Japanese Case Studies, Springer, pp. 61-71/pp.373-380, 2017
- 20) 村山顕人：都市マスタープランの現在地-都市マスタープランの見直しから見た名古屋空間戦略の課題（第8章 8.2），小泉秀樹編：コミュニティデザイン学：その仕組みづくりから考える，東京大学出版会，pp.196-205，2016
- 21) Akito Murayama：Land Use Planning for Depopulating and Aging Society in Japan, Yoshiki Yamagata and Hiroshi Maruyama eds: Urban Resilience: A Transformative Approach, Springer, pp.79-92，2016
- 22) 村山顕人：日本における持続可能性アセスメントの萌芽（地区スケールの持続性評価の枠組み---日本のCASBEE-まちづくりと世界の枠組），原科幸彦・小泉秀樹編著：都市・地域の持続可能性アセスメント：人口減少時代のプランニングシステム，学芸出版社，p.200-208，2015.7
- 23) Hiroyuki Shimizu, Akito Murayama（編集）：Basic and Clinical Environmental Approaches in Landscape Planning, Springer, 2014.2
- 24) 村山顕人：まちなかサテライト研究室 錦二丁目長者町 まちの会所，アーバンデザインセンター研究会編著：アーバンデザインセンター：開かれたまちづくりの場，理工

- 図書，pp.111-114，2012
- 25) 村山顕人：都市のグリーンインフラストラクチャをつくる，名古屋大学大学院環境学研究科しんきん環境事業イノベーション寄附講座編：地球からのおくりもの：生物多様性を理解するために」風媒社，pp.138-153，2011
- 26) Junichiro Okata, Akito Murayama: Tokyo's Urban Growth, Urban Form and Sustainability, Andre Sorensen and Junichiro Okata eds.: Megacities: Urban Form, Governance, and Sustainability, Springer, pp.15-41, 2011
- 27) Akito Murayama: Toward the Development of Plan-Making Methodology for Urban Regeneration, Masahide Horita and Hideki Koizumi eds.: Innovations in Collaborative Urban Regeneration, Springer, pp.15-29, 2009
- 28) 村山顕人：脱成長時代の自治体都市計画，自治体学会編：自治体計画の現在，第一法規，pp.53-82，2009
- 29) Tetsuo Kidokoro, Akito Murayama, Kensuke Katayama, Norihisa Shima：New Directions in Urban Regeneration and the Governance of City Regions, T. Kidokoro, N. Harata, L. P. Subanu, J. Jessen, A. Motte, E. P. Seltzer eds.: Sustainable City Regions: Space, Place and Governance, Springer, pp.3-22, 2008
- 30) 村山顕人：港湾機能と都市機能をダイナミックに再構成する，新産業と路面電車で都市の中に村をつくる，都市の中に小さなまちをたくさんつくる，米国のサステナブル・サイト・デザインを支える都市づくりの戦略，都市河川を短期間で復元する，東京大学 cSUR-SSD 研究会編著：世界のSSD100：都市持続再生のツボ，彰国社，pp.100-103, 208-211, 228-231, 236-239, 330-333, 2008
- 31) Akito Murayama: Civic movement for sustainable urban regeneration: downtown Fukaya City, Saitama prefecture, Andre Sorensen, Carolin Funck eds.: Living Cities in Japan: Citizens' Movements, Machizukuri and Local Environments, Routledge, pp.206-223, 2007
- 32) 村山顕人：日常生活空間の再構成，トマス・ジーバーツ著，養原敬監訳：都市田園計画の展望：「間にある都市」の思想，学芸出版社，pp.97-118，2006
- 33) 小泉秀樹，村山顕人：都市民主主義の成立：アメリカ都市再生政策の歴史的展開に学ぶ，小泉秀樹，矢作弘編：シリーズ都市再生(2)：持続可能性を求めて：海外都市に学ぶ，日本経済評論社，pp.20-39，2005
- 34) 村山顕人，松本博之：深谷の都市マスタープランと街なか再生，矢作弘，小泉秀樹編：シリーズ都市再生(3)：定常型都市への模索：地方都市の苦闘，日本経済評論社，pp.230-259，2005
- 35) 小泉秀樹，村山顕人：1970年代以降の成長管理の登場・発展，ワシントン州：多主体間の意向調整に基づいたサステナブルな都市圏形成の試み，小泉秀樹，西浦定継編著：スマートグロース：アメリカのサステナブルな都市圏政策，学芸出版社，pp.9-34，pp.111-162，2003
- 36) 村山顕人，小泉秀樹：シアトル：都市改造への反対から始まったダウンタウン再生，シアトル都市圏：成長管理とダウンタウン再生，北沢猛+アメリカン・アーバンデザイン研究会編著：都市のデザインマネジメント：アメリカの都市を再編する新しい公共体，学芸出版社，pp.159-174，pp.175-187，2002

#### ◆教科書

- 1) 村山顕人：土地利用と施設配置/計画策定技法，中島直人，村山顕人，高見淳史，樋野公宏，寺田徹，廣井悠，瀬田史彦：都市計画学：変化に対応するプランニング，学芸出版社，2018
- 2) 佐々木康寿，山崎真理子，古川忠稔，村山顕人，山田容三：森と街の再生をめざす臨床環境学-都市の木質化プロジェクトを通じた連携構築，渡邊誠一郎，中塚武，王智弘編：臨床環境学，名古屋大学出版会，pp.146-167，2014
- 3) 村山顕人：アメリカの都市計画，伊藤雅春，小林郁雄，澤田雅浩，野澤千絵，真野洋

介, 山本俊哉編著: 都市計画とまちづくりがわかる本, 彰国社, pp.78-79, 2011

## ■研究報告 (査読なし)

- 1) 村山顕人, 山崎潤也, 似内遼一, 真鍋陸太郎: 都市の土地利用計画・市街地環境整備計画への気候変動適応策導入の方向性, シンポジウム-5 「地域生活分野への気候変動影響の評価と適応策の検討」, 環境科学会 2023 年会講演要旨集, pp. 230-231
- 2) 山崎潤也, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 気候変動下の市街地を対象とした温熱環境シミュレーションとその活用, シンポジウム-5 「地域生活分野への気候変動影響の評価と適応策の検討」, 環境科学会 2023 年会講演要旨集, pp. 232-233
- 3) 山崎潤也, 森田紘圭, 名畑恵, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 温熱環境調査・解析と模型制作を組み合わせた気候変動適応まちづくりワークショップ手法: 名古屋市中区錦二丁目地区における実践を通じて, エリアマネジメント研究交流会第 3 回, 2023 年 7 月 1 日, シティラボ東京
- 4) 深谷麻衣, 山崎潤也, 吉田崇統, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 社会課題に対応する先進的な BID 等の事例調査報告: 米国・英国・スウェーデンの 4 事例に着目して, エリアマネジメント研究交流会第 3 回, 2023 年 7 月 1 日, シティラボ東京
- 5) 日本建築学会: ウイズ/アフターコロナに適應する建築・都市に関する特別調査委員会報告書 (2021 年 4 月 ~ 2023 年 3 月), 2023.3, [https://www.aij.or.jp/jpn/databox/2023/y030\\_2023.pdf](https://www.aij.or.jp/jpn/databox/2023/y030_2023.pdf)
- 6) 村山顕人: 米国連邦政府のコミュニティ計画・開発プログラムと民間主導のエコディストリクト, 公益財団法人日本都市センター編, 卯月盛夫・阿部大輔・岡井有佳・藤井さやか・村山顕人・高野裕裕著: 地域社会のグローバル化を見据えた包摂・共生のまちづくり~欧州・北米のコミュニティ再生と日本における可能性, pp.121-133, 2023
- 7) 村山顕人・高野裕裕作: 補論 2 都市更新とジェントリフィケーションの関係性, 公益財団法人日本都市センター編, 卯月盛夫・阿部大輔・岡井有佳・藤井さやか・村山顕人・高野裕裕著: 地域社会のグローバル化を見据えた包摂・共生のまちづくり~欧州・北米のコミュニティ再生と日本における可能性, pp.187-196, 2023
- 8) 山崎潤也, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 温熱環境シミュレーションを活用した気候変動適応まちづくりワークショップの方法 名古屋市中区錦二丁目地区における実践を通じて, 日本建築学会大会学術講演梗概集, pp.1003-1004, 2022.9
- 9) 小松俊也, 真鍋陸太郎, 村山顕人: ニュージーランドにおける都市農村計画制度の特徴と変容: 1991 年資源管理法を中心として, 都市計画報告集, Vol.21, No.2, pp.130-133, 2022, [https://doi.org/10.11361/reportscpij.21.2\\_130](https://doi.org/10.11361/reportscpij.21.2_130)
- 10) 吉田崇統・松尾和史・平野勇二郎・村山顕人: Carbon Terrain : 二酸化炭素排出量でみる日本の地形, マップギャラリー2022・マップ部門第 1 位, 第 19 回 GIS コミュニティフォーラム (2022 年 5 月 19-20 日), ESRI ジャパン株式会社
- 11) 山崎潤也, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 温熱環境シミュレーションを活用した気候変動適応まちづくりワークショップの方法: 名古屋市中区錦二丁目地区における実践を通じて, エリアマネジメント研究交流会第 2 回, オンライン, 2022 年 7 月 2 日
- 12) 山崎潤也, 福山遼平, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 日本版 SSP 別土地利用シナリオの行政区域別将来推移を対象とした環境影響評価, 第 17 回日本 LCA 学会研究発表会, 2-C-2-03, 2022.3.3
- 13) 久保夏樹, 村山顕人, 真鍋陸太郎, 山崎潤也, 深谷麻衣, 日下田伸, 諸隈紅花, 堤遼, 小松航樹: エコディストリクト研究会の活動報告, エリアマネジメント研究交流会第 1 回, オンライン, 2021 年 7 月 10 日
- 14) 今本健太郎, 荻野紗央, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 東京圏の市区町村別 COVID-19 感染者数の推移と都市圏構造: 2020 年 4 月から 11 月までの感染傾向の分析を通して, 日

本生活学会第 48 回研究発表会資料集, p.31-32, 2021

- 15) 富士原大介, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 電動垂直離着陸機 eVTOL の離着陸場配置計画の必要性とその考え方 都市計画における新しいモビリティの受容に向けて, 都市計画報告集, No.19, pp.144-150, 2020.9
- 16) 松村優, 山口志志, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 小泉秀樹: 田園住居地域指定による都市農地の活用可能性 東京都練馬区高松地区におけるケーススタディ, 都市計画報告集, No.19, pp.174-179, 2020.9
- 17) 那須毅寛, 村山顕人, 真鍋陸太郎: 都市河川を舞台とするカヤック・SUP 利用の現状と活動促進に向けた方向性, pp.245-252, 2020.9, 都市計画報告集, Vol.19, No.2, pp. 245-252, 2020.3, [https://doi.org/10.11361/reportscpij.19.2\\_245](https://doi.org/10.11361/reportscpij.19.2_245)
- 18) 大木寧子, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 木造密集市街地解消を契機とした低家賃住宅の減少と居住支援の課題: 東京都北区田端地区の事例分析を中心として, 都市計画報告集, Vol.18, No.4, pp.274-279, 2020.3, [https://doi.org/10.11361/reportscpij.18.4\\_274](https://doi.org/10.11361/reportscpij.18.4_274)
- 19) 井上拓央, 柴戸未來, 木村達之, 真鍋陸太郎, 後藤智香子, 村山顕人, 小泉秀樹: 画像認識を活用した都市調査手法の確立に向けて: 物体検出とセグメンテーションによる調査項目と画像取得手法の提案, 都市計画報告集, No.18, pp.189-192, 2019.9
- 20) 坂井航佑, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 旧東海道全区間の街道景観保全の条件, 都市計画報告集, No.18, pp.137-143, 2019.9
- 21) 藤江教貴, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 近年の鎌倉戸住宅地開発の推移と空間構成の変容実態, 都市計画報告集, No.18, pp.121-128, 2019.9
- 22) 木村颯希, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 都市超高層建築物の群化による複合的環境影響に関する研究: 武蔵小杉駅周辺市街地を対象に, 都市計画報告集, No.18, pp.87-91, 2019.6
- 23) 秋月優里, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 移動販売が形成する仮設的コミュニティプレイスについて-千葉県野田市のケーススタディ-, 日本生活学会第 46 回研究発表大会梗概集, pp.38-39, 2019
- 24) 島村浩太, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎: 首都圏における自治体公共施設再編計画の実現段階の取り組みの概観: 先進 8 自治体の分析を通じて, 都市計画報告集, No.17, pp.293-298, 2018
- 25) 秋月優里, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎: 斜面市街地整備と立地適正化計画: 長崎市江平地区および岩瀬道・立神地区を中心に, 都市計画報告集, No.17, pp.231-236, 2018
- 26) 井上拓央, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎: 計画意図・内容と論点からみた立地適正化計画の意義と課題: 計画案に対するパブリックコメントの分析から, 都市計画報告集, No.17, pp.283-288, 2018
- 27) 三木裕子・村山顕人・真鍋陸太郎: 地方都市の副拠点を対象とした空間形成計画の達成状況と課題 - 奈良市・近鉄大和西大寺駅周辺エリアの事例分析を通じて -, 都市計画報告集, Vol.16, No.2, pp.176--181, 2017, [https://doi.org/10.11361/reportscpij.16.2\\_176](https://doi.org/10.11361/reportscpij.16.2_176)
- 28) 藤田晃大, 真鍋陸太郎, 村山顕人, 大方潤一郎: 地域サービス機能から見た近年の日本の都市計画論の歴史的位置づけ, 都市計画報告集, No.15, pp.81-86, 2016
- 29) 森田紘圭, 稲永哲, 青木英輔, 村山顕人, 藤森幹人, 名畑恵, 延藤安弘: 居住・就業環境が個人の生活行動と健康・創発・幸福に与える影響の分析, 第 53 回土木計画学研究発表会・講演集, pp.605-611, 2016
- 30) 稲永哲, 藤森幹人, 渡邊真理, 森田紘圭, 村山顕人, 名畑恵, 延藤安弘: 地域主導型歩道拡幅社会実験における多様な参加機会が地域力の向上に与えた影響 - 名古屋市中区錦二丁目長者町ウッドテラスの事例を対象として -, 第 53 回土木計画学研究発表会・講演集, pp.1514-1522, 2016
- 31) 稲永哲, 藤森幹人, 名畑恵, 延藤安弘, 村山顕人, 森田紘圭: 地域主導型まちづくりにおける道路空間性整備検討の課題-長者町ウッドテラスの社会実験を通じて-, 景観・

- デザイン研究講演集, No.11, pp.271-278, 2015
- 32) 澤寄裕樹・村山顕人：人口増減と複合災害の情報をを用いた長期的土地利用計画の検討 - 東海 4 県における減災都市計画の展開に向けて-, 都市計画報告集, No.14, pp.79-86, 2015.5
  - 33) Ayyoob Sharifi, Itsuki Nagata, Akito Murayama: The potential of "CASBEE for urban development" for delivering sustainable communities: A case study from the "Koshigaya Lake Town" planning experience, *Journal of International City Planning* (2012), pp.703-713, 2012
  - 34) 澤寄裕樹・村山顕人：人口増減と復興災害リスクを考慮した空間データベースの構築と土地の類型化, 日本建築学会東海支部研究報告集, No.52, pp.705-708, 2014
  - 35) 村山顕人：南カリフォルニア成長ビジョンの策定における都市形態の検討方法に関する調査報告, 日本建築学会東海支部研究報告集, No.45, pp.605-608, 2007.2
  - 36) 村山顕人：米国 4 都市のダウントウン計画策定過程 -クリーブランド、デンバー、ポートランド、シアトルを対象とした事例調査の報告-, 都市計画報告集, No.1, pp.16-21, 2003.4
  - 37) 村山顕人, 小泉秀樹, 大方潤一郎：都市計画マスタープラン地域別構想の策定における協議過程の評価：埼玉県川越市都市計画マスタープラン震ヶ関地域地域別構想を例として, 都市住宅学, No.35, p. 127-132, 2001

#### ■国際会議発表、国外の講演等

- 1) Takahiro Yoshida, Hideo Suda, Koichi Oota, Makiyo Maekawa, Takuo Inoue, Junya Yamasaki, Ryoichi Nitani, Rikutarō Manabe, Akito Murayama: A roadmap toward carbon neutrality of the building sector in a central urban area of Tokyo, 15th International Conference on Applied Energy (ICAE2023), Qatar University | December 3-7, 2023, Paper ID: 412 <概要査読付>
- 2) Haya Helmy, Takahiro Yoshida, Akito Murayama, Amal Bogoreh, Ishwar Rammarine, Perry Pei-Ju Yang: Carbon-neutrality Architecting and New-age Visions for Urban Areas using Systems design (CANVAS) – A case study of Tokyo Nihonbashi, 15th International Conference on Applied Energy (ICAE2023), Qatar University | December 3-7, 2023, Paper ID: 591 <概要査読付>
- 3) Yudi Liu (presenting author), Yushi Yoshida, Nabmita Nath and Akito Murayama (primary author): Smart Transit-Oriented Neighborhoods in Japan: How Private Corporations Develop National Flagships, ACSP 2023 Book of Abstracts, pp.682-683 <概要査読付>
- 4) Akito Murayama: #2 Community-based Approach to Eco-Smart Districts, Urban Transition. Practices and Lessons from Japan, PhD Program in Urban and Regional Planning, Politecnico di Torino and PoliTO JapanHub, September 26, 2023, Astengo Room, Castello del Valentino, Torino <招待講演>
- 5) Akito Murayama: #1 Tokyo Megaregion and its Diverse Urban Areas, Urban Transition. Practices and Lessons from Japan, PhD Program in Urban and Regional Planning, Politecnico di Torino and PoliTO JapanHub, September 25, 2023, Vigliano Room, Castello del Valentino, Torino <招待講演>
- 6) Akito Murayama: Transitions in Urban Planning Concepts and Methodologies, INFRATIME Roundtable: Taking Time, Shaping Time. Pacing Urban Climate Transitions, STS Italia Conference 2023, Bologna, June 29, 2023, オンライン参加 <招待講演>
- 7) Akito Murayama: Planning Methodology for Climate Solutions in Smart Cities, Asian Smart Cities Network and Digital Twin 2023 Symposium: Hong Kong Future Living, June 10, 2023, Room LT-1, Yeung Kin Man Academic Building, City University of Hong Kong <招待講演>
- 8) Akito Murayama: Planning Methodology for Climate Solutions in Smart Cities, GeorgiaTech Smart Cities Systems Design Panel, February 16, 2023, Caddell Flex Space, College of Design, Georgia Institute of Technology <招待講演>
- 9) Akito Murayama: Urban Carbon Mapping Method toward Zero-Carbon Area Management: Introduction to MitsuiFudosan UTokyo Laboratory Research, Joint seminar CREM-IFRJ, November 9, 2022
- 10) Akito Murayama, Takahiro Yoshida, Koichi Oota, Hideo Suda: Zero-Carbon Area Management Using Urban Carbon Mapping Method, Session 2 - Room 1: Urban Systems Design A - Smart Cities Planning Support, International Urban Planning and Environment Congress, July 29 - August 1, 2022
- 11) Takahiro Yoshida, Akito Murayama, Yoshiki Yamagata: Spatial and Temporal CO2 mapping for Urban Carbon Management, Session 2 - Room 1: Urban Systems Design A - Smart Cities Planning Support, International Urban Planning and Environment Congress, July 29 - August 1, 2022
- 12) Takahiro Yoshida and Akito Murayama: Urban Systems Design Approach to Sustainable Urban Transformation, International Online Seminar on Sustainable Urban Transformation: Towards a Common Value in Urban Space, HEC Paris and the University of Tokyo, April 19, 2022
- 13) Akito Murayama: Recent Urban Transformation in Tokyo: Lifestyle Changes and Experimental Approaches, Emscher Congress 2022 Good Practice – internationale Beispiele gelungener Transformationsprozesse in Metropolregionen, March 3, 2022 <招待講演>
- 14) Perry Yang, Takahiro Yoshida, Akito Murayama, Soowon Chang, Yoshiki Yamagata: Green recovery planning for a low energy urban district using urban digital platform - A case study of Tokyo Shinagawa, ICAE2021-International Conference on Applied Energy, Nov.29-Dec.2, 2021, in Bangkok, Thailand, Paper ID: 870
- 15) Takahiro Yoshida, Junya Yamasaki and Akito Murayama: Time-Framing in Urban Systems Design for Carbon Neutral, Climate Resilient and COVID-19 Conscious Urban Areas, INFRATIME Seminar Series First Edition: Timescapes of urban infrastructures and planning, Online, October 14, 2021
- 16) Akito Murayama: Community-based Urban Regeneration: A Case of Nishiki 2 District, Nagoya City, Japan, MUS International Lecture Series 2021 "Urban Regeneration Strategies powered by MUS x UDDC-CEUS, March 18, 2021, オンライン参加 <招待講演>
- 17) Akito Murayama: Smart City and Urban Planning Challenges, GCP Workshop: ZeroCarbon x Digital: Urban Decarbonization in the Post-Covid-19 Era, Session 2: New urban planning approaches for designing future zero carbon, December 15, 2020 <招待講演>
- 18) Akito Murayama: The Potential Impacts of COVID-19 on "Social Distancing Sensitive" Urban and Regional Structures, International e-Conference on Pandemics and Transport Policy, Session 10 – Nationwide Policy Responses, December 11, 2020
- 19) Akito Murayama, Tatsuyuki Kimura, Yu Matsumura, Saki Hisatsune, Takahiro Yamazaki, Noriko Akita, Rikutarō Manabe and Hideki Koizumi: Spatial Planning and Design for Tokyo's Agri-Residential Mixed Neighborhoods, 2020 IALE-North America Annual Meeting Virtual Remote Conference, May 11-14, 2020
- 20) Yushi Yoshida, Shigehisa Matsumura, Akito Murayama and Tetsuo Kidokoro: New Planning Framework for Promoting TOD in Emerging Countries: Empirical Studies in Southeast Asian Cities by Utilizing "TOD Solution Matrix", 2019 International Conference of Asia-Pacific Planning Societies, August 22-24, 2019, University of Seoul, Seoul, Korea <概要査読付>
- 21) Shaila Islam, Istiaque Ahmed, Rikutarō Manabe and Akito Murayama: Pedestrianization Challenges Around Future Transit Oriented Development Area in Dhaka, Bangladesh, Livable Cities Conference, August 12-13, 2019, Adelaide Convention Centre, Adelaide, South Australia <概要査読付>
- 22) Akito Murayama and Akiko Iida: Agenda for Urban Farmland Conservation and Green Infrastructure Development in a Sprawled Suburban City in Tokyo, Japan, The 10th International Association for Landscape Ecology Congress (IALE 2019), July 5, 2019, Università degli Studi di Milano-Bicocca, Milan, Italy <概要査読付>
- 23) Yuri Akizuki with Akito Murayama and Rikutarō Manabe: "Temporary Places" in Communities Formed by Mobile Retailers: A Case of COOP Associations in Japan, The Second International Conference of International Association of Sustainable Urbanization and Regeneration, March

- 29-31, 2019, Xi'an University of Architecture and Technology, Xi'an, China <概要査読付>
- 24) #Akito Murayama: Building Ecodistricts in Existing Urban Area: Nishiki 2 Low-Carbon Community Development Project in Japan, The Second International Conference of International Association of Sustainable Urbanization and Regeneration, March 29-31, 2019, Xi'an University of Architecture and Technology, Xi'an, China <概要査読付>
- 25) Perry Yang with Yoshiki Yamagata, Akito Murayama and Kanae Matsui: Transforming the Social and Ecological Landscape of an Inncity Neighborhood: A Test Case of Tokyo's Kyojima Smart City Project, Great Asian Streets Symposium (GASS) 2018 and Pacific Rim Community Design Network "Emerging Civic Urbanisms / Designing for Social Impact", December 14-16, 2018, National University of Singapore
- 26) Akito Murayama: Various Types of Research-Practice Interface in Urban Planning and Community Development, International Conference "Implementing the United Nations' Urban Agenda. Universities in Action", May 25, 2018, Room 10V, Castello del Valentino, Torino <招待講演>
- 27) Akito Murayama: Prospects and Challenges for Planning Green Smart Cities and Communities, Future Earth/Global Carbon Project International Workshop on "Towards Green Smart Cities in the IoT Era", March 19, 2018, Ito International Research Center, The University of Tokyo
- 28) Akito Murayama: "Compact City + Network" Urban Structure and the De-intensification of Suburban Residential Areas, 2nd Conference on Homes-up - Single Family Homes under Pressure?, November 16-17, Leibniz Institute of Ecological Urban and Regional Development (IOER), Dresden, Germany, 2017 <招待講演>
- 29) Akito Murayama: Livable City Center in the Age of Linear Chuo Shinkansen: Prospects for Planning in Nagoya's City Center, Special Session 1: Livable City Development and High Speed Rail, 2017 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, August 25, 2017, Nagoya Congress Center <招待講演>
- 30) Akito Murayama: Urban Diversity and Transformation of Tokyo, Presented in the University of Tokyo Global Japan Studies Summer Program 2017 AN INQUIRY INTO JAPAN'S POSTWAR, August 1, 2017, Institute for Advanced Studies on Asia, The University of Tokyo
- 31) Akito Murayama: The Implementation of Municipal Low-Carbon City Strategy through Community Development in Existing Urban Area: The Case of Nagoya City and Nishiki 2 Low-Carbon Model District, International Conference "Urban Governance in the Network Society: France, Thailand and Japan", January 19-20, 2017, Rhone Department & Metropolitan Archives, Lyon, France <招待講演>
- 32) Akito Murayama: Experiences in Nishiki 2 District, Workshop Session: Opening Up the Black Box of Research-Practice, September 15, 2016, EcoDistricts Summit 2016 Research Forum, University of Denver <招待講演>
- 33) Akito Murayama: Urban Diversity and Transformation of Tokyo, Presented in The University of Tokyo Global Japan Studies Summer Program 2016 AN INQUIRY INTO JAPAN'S POSTWAR, August 27, 2016, Institute for Advanced Studies on Asia, The University of Tokyo
- 34) Akito Murayama and Hiroyoshi Morita: Assessing the community-based low-carbon initiatives in Nishiki 2 District, Nagoya City, Presented in Workshop on Practice and Research in Urban Sustainability Assessment, August 18, 2016, The University of Tokyo, organized by International Association for Impact Assessment Japan Branch, Global Carbon Project Tsukuba International Office and Japan Society of Urban and Regional Planners, supported by Urban Land Use Planning Unit, Department of Urban Engineering, School of Engineering, The University of Tokyo
- 35) Akito Murayama, U Hiroi and Yoshihiro Chiba: Development and Application of Web-based Geographical Information System to Assess Urban Resilience: Land Use and Infrastructure Planning for the Greater Nagoya Region, Japan, Workshop on Tools and Indicators for Assessing Urban Resilience, December 7-10, 2015, The University of Tokyo, organized by Global Carbon Project-Tsukuba International Office in Collaboration with NIES, APN, UGEC, WUDAPT and IR3S)
- 36) Akito Murayama and Atsushi Shibata: The Recent Trend of Single-Family Residential Areas in

- the Shrinking Cities in Japan: Case of Yokosuka City, Kanagawa Prefecture, Project Homes-up - Single Family Homes under Pressure? International Meeting Dresden 2015, November 23 and 24, IOER Dresden, Germany <招待講演>
- 37) Akito Murayama: Community-based approach to climate change response and Disaster mitigation: Cases in Nagoya City, "GCP Workshop at Toyota High-level Symposium on Sustainable Cities", 15-16 January 2015, Hotel Toyota Castle, Toyota City, Japan <招待講演>
- 38) Akito Murayama: Land Use Planning for Climate Change Response and Disaster Mitigation, Workshop on Surprise Resilient Scenarios: Emergent Dialogue Approach, 1-4 November 2014, Hotel Moon Beach, Okinawa, Japan, organized by Global Carbon Project-Tsukuba International office in collaborations with X-Center Network and Japan Industrial Management Association <招待講演>
- 39) Mari Watanabe, Akito Murayama: Reclaiming Urban Streets: Comparative Analysis of Planning Process, Cost and Technical Standards of "Parklets" in San Francisco and Los Angeles, Proceedings of the First Conference of International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration "Sustainable Society as Our Challenge", pp.511-520, 2014 <概要査読付>
- 40) Akito Murayama: Participatory Planning Approach to Link District, City and Region: Experiences in Nagoya, Japan, Workshop "Linking cities to regions: Exploring trans-scalar sustainable development processes", Chile-Japan Academic Forum at UTokyo, October 8, 2014, The University of Tokyo
- 41) Akito Murayama: Emerging Urban Form in the Age of Depopulation: Toward a New Planning and Management Approach, Public Symposium of Spatial Planning in Japan, 2014.9.15, Room 410, GB1, Faculty of Spatial Planning, TU Dortmund, Germany <招待講演>
- 42) Akito Murayama: Reconsidering Automobile-Oriented Urban Form: The Recent Planning Policies in Nagoya City, Workshop on the Urban History of Britain and Japan: Envisioning the Motor City: A Comparison of Post-War Reconstruction in Birmingham and Nagoya, 2014.4.28, Lecture Hall, Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University, Nagoya, Japan <招待講演>
- 43) Akito Murayama: Resilient Land Use and Urban Form for Climate Change and Disaster Mitigation, German Science Days in Kyoto "Research for Sustainable Development" Workshop 2 "Sustainable Urban Development in Times of Demographic and Climate Change", 2013.10.25, Kyoto University, Kyoto, Japan <招待講演>
- 44) Akito Murayama: Shaping the Contemporary Urban Environment of Nagoya City, 国際交流基金 日米・カナダ学芸員交流事業連携シンポジウム, 2013.10.18, 日本・名古屋市・楽運寺
- 45) Akito Murayama: Resilient Land Use and Urban Form for Demographic Change, Climate Change and Disaster Mitigation, Nagoya University Global COE Program "From Earth System Science to Basic and Clinical Environmental Studies" - DFG (German Research Foundation) German Japan Joint Symposium: Sustainable Regional Planning for Shrinking Regions and Cities: Exchange of German and Japanese Studies, 2013.10.3, Nagoya University, Nagoya, Japan
- 46) Akito Murayama: Achieving Citywide Planning Goals through Machizukuri: The Recent Low-Carbon Movements in Nagoya City, Japan, CCRR-2013: Climate Change and Regional Response: Impacts and adaptation strategies for public, commercial and private actors, 2013.5.28, The Westin Bellevue Dresden, Dresden, Germany <招待講演>
- 47) Akito Murayama and Ayyoob Sharifi: Integrating Planning and Assessment Methodologies: An Initial Step to Enhance Ecological Services and Biodiversity in Our Living Space, New Trend of Landscape Design 2: Enhancing Ecological Services and Biodiversity in Urban, Suburban and Rural Area, 2013.1.7, Nagoya University, Nagoya, Japan
- 48) Akito Murayama and Ayyoob Sharifi: Low-Carbon Strategy and Community Development in Nagoya, Japan: Case of Nishiki 2 District, a Fabric Warehouse District in Transition,



- EcoDistricts Summit 2011, Portland State University, Portland, Oregon, U.S.A. <招待講演>
- 49) Akito Murayama: Restoration of Urban Waterfront through Viaduct Removal, Center for Sustainable Urban Regeneration International Workshop: Next Step to Sustainable Urban Regeneration, 2007.9.3-5, The University of Tokyo, Tokyo, Japan <招待講演>
  - 50) Akito Murayama, Katsunori Banno, Satoshi Ishii, Takefumi Kurose, Toshiko Sato: Toward the Integration of Brownfield Rehabilitation and Planning Methodologies: Case Study of Keihin Industrial Area, Tokyo, Japan, Proceedings of Brownfields 2006: Third International Conference on Prevention, Assessment, Rehabilitation and Development of Brownfield Sites, 2006.7.19-21, Tallinn, Estonia <概要査読付>
  - 51) Akito Murayama, Noriaki Hayakawa, Junichiro Okata: Toward Comparative Study on Spatial Planning Issues and Approaches in Diverse Megacities, 2006 World Planning School Congress, 2006.7.11-16, Mexico City, Mexico <概要査読付>
  - 52) Akito Murayama: Downtown Regeneration Efforts in Fukaya City and Challenges for Sustainable Governance: 1st Symposium on Sustainable Urban Regeneration: Japan & Phoenix, 2005.5.26, School of Planning, Arizona State University, Tempe, Arizona, U.S.A. <招待講演>
  - 53) Akito Murayama: Issues of Sustainable Urban Regeneration in Tokyo: Transport, Housing and Urban Planning/Development: 1st Symposium on Sustainable Urban Regeneration: Japan & Phoenix, 2005.5.26, School of Planning, Arizona State University, Tempe, Arizona, U.S.A. <招待講演>
  - 54) Akito Murayama: Governance for Sustainable Urban Regeneration: Cases of Participatory Urban Planning and Machizukuri in Fukaya City, Saitama Prefecture, Japan, Conference Proceedings of the International Federation for Housing and Planning (IFHP) Spring Conference 2005: The Intentional City, 2005.5.22-25, Portland, Oregon, U.S.A., pp.7-17 <概要査読付>
  - 55) Rikutarō Manabe, Akito Murayama, Hideki Koizumi, Junichiro Okata: Application of ICT Tools to Plan-Making Process in Local Government: Using e-Community Karte in Mitaka City, Computers in Urban Planning and Urban Management (CUPUM) 05, 2005.6.29-7.1, London, U.K. <概要査読付>
  - 56) Akito Murayama: Governance for Sustainable Urban Regeneration: Cases of Participatory Urban Planning and Machizukuri in Japan, Proceedings of the Workshop: Problems & Prospects for Urban Regeneration: Comparison of Regional Cities in Indonesia and in Japan, 2005.3.4, Magister Perencanaan Kota dan Daerah / Pusat Studi Perencanaan Pembangunan Regional, Gadjah Mada University and Center for Sustainable Urban Regeneration, The University of Tokyo, pp. II-30-55
  - 57) Akito Murayama: Viaduct Removal, Waterfront Restoration and Urban Center Regeneration: Framework for International Comparative Case Study, International Workshop on Sustainable Urban Regeneration: Korea, Japan and China, 2004.12.1, Environmental Planning Institute, Seoul National University and Seoul Development Institute <招待講演>

#### ■解説論文、総合報告等

- 1) 村山顕人：論説1：大学研究者から見たプラン・プランナー像，都市計画家 Planners 99, pp.8-9, 2023.5
- 2) 村山顕人：地区の持続性を評価する，区画整理，令和4年9月号，pp.7-12, 2022
- 3) 村山顕人：社会・環境変容に適応する都市空間計画論，2022年度日本建築学会大会（北海道）総合研究協議会「ウイズ/アフターコロナへの建築学の対応」資料集，pp.28-31, 2022.9
- 4) 村山顕人：タクティカル・アーバンイズムと都市計画をつなぐ，2022年度日本建築学会大会（北海道）都市計画部門研究協議会「新たな価値を実現するための都市・都市計画の枠組み」資料集，pp.15-16, 2022.9

- 5) 村山顕人：本報告書に対する有識者意見，UR都市機構環境報告書「まち・住まいと環境2022」，2022.7
- 6) 村山顕人：サステイナブルシティを考える，都市計画ぐんま，vol.28, pp.12-13, 2022.3
- 7) 村山顕人：まち側から駅まちデザインを考える，新都市，vol.76, no.2, pp.10-13, 2022.2
- 8) 村山顕人・森本章倫：スマートシティと持続可能性—技術中心から人間・社会中心の持続的な都市再生へ，都市計画354号，Vol.71, No.1, pp.72-75, 2022.1
- 9) 山形与志樹・村山顕人・吉田崇紘：都市システムデザインによる気候変動緩和策・適応策の検討，都市計画354号，Vol.71, No.1, pp.82-85, 2022.1
- 10) 村山顕人：都市空間レベルの行動変容・社会変容に対応する計画論の形成，2021年度日本建築学会大会（東海）総合研究協議会「ウイズ/アフターコロナへの建築学の横断的検討研究成果の確認と対応指針づくり」資料集，pp.22-28, 2021
- 11) 山崎嵩拓・村山顕人：ステイ・ホームを契機とした農住混在市街地の可能性の考察—2つの「ホーム」自宅・近所の観点から—：都市住宅学，2021年春号，no.113, pp.56-60, 2021
- 12) 村山顕人：本来の都市更新のコーディネートへ（再開発にひとこと第143回），再開発コーディネーター，No.211, p.28, 2021
- 13) 村山顕人：駅まち空間の戦略的プランニングとデザインマネジメント，区画整理，2021.4, pp.6-13, 2021
- 14) 村山顕人：事例ルポ-03名古屋市（愛知県）錦二丁目が挑む都市の木質化プロジェクト，CITY in CITY, vol.32, pp.20-21, 2021
- 15) 村山顕人：都市マスタープランを支える計画技法：約30年間の市町村マスタープラン策定を振り返る，都市計画348号，Vol.70, No.1, pp.40-45, 2021.1
- 16) 今本健太郎・村山顕人：市町村都市計画マスタープラン策定ガイドラインの今：3種類のガイドラインのレビュー，都市計画348号，Vol.70, No.1, pp.46-47, 2021.1
- 17) 村山顕人：都市の公共空間における木材利用の力：多様な主体の協働による持続可能な都市の形成に向けて，木材工業新聞2021年新春特集，pp.52-65, 2021.1
- 18) 村山顕人：マルチスケールで考えるWithCOVID-19の都市・国土のかたち，人と国土，Vol.46, No.4, pp.42-43, 2020.11
- 19) Hiroyoshi Morita, Akito Murayama, Yasutoshi Sasaki: Connecting Public Spaces and Basins with Wood, The City at Eyelevel Asia, pp.294-298, 2020 <[https://issuu.com/stipoteam/docs/cael\\_ebook\\_def\\_single-pages](https://issuu.com/stipoteam/docs/cael_ebook_def_single-pages)>
- 20) 村山顕人：都市をデザインする，JUDI通信2020年秋号，都市環境デザイン会議国際委員会，2020.9 <[https://17f373ba-e2f4516-b948-db0fe9301861.filesusr.com/ugd/e4572b\\_8037360449ab448ba8a76e938050b04a.pdf](https://17f373ba-e2f4516-b948-db0fe9301861.filesusr.com/ugd/e4572b_8037360449ab448ba8a76e938050b04a.pdf)>
- 21) 村山顕人：[アーバン・ディスタンス] With COVID-19時代の都市計画の視点，046 | 202008 | 特集：距離のポリティクス - 感染症と建築学の交点，建築討論，2020 <<https://medium.com/kenchikutouron/046-202008-特集-距離のポリティクス-感染症と建築学の交点-3855b89bca2d>>
- 22) 村山顕人：持続性とレジリエンシーから描く都市像—どのよう都市像を描くべきか—，都市計画345号，Vol.69, No.4, pp.62-67, 2020.7
- 23) 村山顕人：佐藤滋早稲田大学名誉教授インタビュー：まちづくりプロセスが創出する重層的な都市像，都市計画345号，Vol.69, No.4, pp.10-15, 2020.7
- 24) 村山顕人：都市のグリーンインフラと空間計画の構成，特集「芝生のチカラとグリーンインフラ」，新都市，Vol.74, No.5, pp.57-60, 2020.5
- 25) 村山顕人：総合的な空間計画の枠組み，日本都市センター報告書「ネクストステージの総合計画に向けて—縮小都市の健康と空間—」，pp.37-54・2020

- 26) 飯田晶子, 山崎高拓, 松尾薫, 村山顕人, クラウディア・カッサテッラ: 人口・経済縮小時代のランドスケープ: イタリア・トリノの経験から, ランドスケープデザイン, No.129, pp.102-111, 2019
- 27) 村山顕人: 持続的な既存市街地再生のためのゾーニング, 2019年度日本建築学会大会(北陸)建築法制部門研究協議会「今、容積率制限を考える」資料集, pp.11-14, 2019
- 28) 村山顕人: 都市計画: 都市環境の向上に貢献する超高層ビルというかたち, 2019年度日本建築学会大会(北陸)建築計画部門パネルディスカッション「霞が関ビルディング調査に見る分野横断的アプローチ」資料集, pp.4-9, 2019
- 29) 村山顕人: 地区のイノベーションと都市のプランニング, 2019年度日本建築学会大会(北陸)都市計画部門研究協議会「ローカルな動きを創発編集する都市・地域の計画フレーム」資料集, pp.25-26, 2019
- 30) 村山顕人: 公共施設再編整備と地域まちづくり: 千葉県松戸市小金原地域での取り組みから, 2019年度日本建築学会大会(北陸)建築計画部門研究協議会「人口縮減社会におけるコミュニティとパブリックの新しいかたち-2030年の地域施設の姿とは-」資料集, pp.49-52, 2019
- 31) 村上公哉・村山顕人(対談): 米国のEcoDistrictsの取組みと日本のエリアマネジメント・地域熱供給, 対談: これからのまちづくりと熱供給(最終回), 熱供給, vol.108, pp.5-9, 2019
- 32) 村山顕人: [都市計画] 都市圏全体の空間構造と地区の環境から構想, 特集: 50年後から見た霞が関ビル, 建築士, Vol.67, No.794, pp.16-19, 2018.11
- 33) 松橋啓介・中島直人・村山顕人・福山祥代・森本章倫: [座談会] スマートシティの潮流とこれから, 都市計画, Vol.67, No.6, pp.26-33, 2018.11
- 34) 村山顕人: 都市計画と市街地開発・まちづくりを考える-愛知県での関わりを中心に, 建築とまちづくり, No.478, pp.6-11, 2018.10
- 35) 村山顕人: 深谷市の街なか再生と都市構造-東京都心通勤圏外の「埼玉の地方都市」の苦闘, 都市計画, Vol.67, No.4, pp.66-67, 2018
- 36) 藤村龍至・村山顕人・内田奈芳美: 団塊ジュニア世代が見る埼玉, 都市計画, Vol.67, No.4, pp.76-82, 2018
- 37) 村山顕人: ポートランド都心部を形成した2つのプラン/エコディストリクト: ポートランドから始まったエコまちづくり(寄稿), 愛知県議会海外調査団有志の会「ポートランドの衝撃: 都市の景色」が変えるAICHIの"意識", pp.14-15/pp.26-27, 2018
- 38) 村山顕人: 論考2「極端なケース」としての日本の戸建住宅地, 建築雑誌, vol.133, No.1708, 2018年3月号, p.32, 2018
- 39) 村山顕人: エコディストリクト: 既存市街地を持続再生させる新たな挑戦, BIOCITY(ビオシティ), No.73, pp.35-43, 2018
- 40) 村山顕人: 都市拠点形成に向けた容積移転プログラムのポイント: 日本の現状と米国ワシントン州キング郡及びシアトル市の事例, 地域開発, vol.622, 2017.10・11, pp.61-68
- 41) 村山顕人: Topics | 関東 自転車未来都市へ - 自転車活用推進法とBICYCLE EXPO 2017, 都市計画, Vol.66, No.6, p.6, 2017
- 42) 村山顕人: エコな街をつくる新しい枠組みの探究: 本特集の背景と見取り図, 都市計画, Vol.66, No.4, pp.10-13, 2017
- 43) Christine Mondor and Anna Rosenblum (著), 村山顕人(訳): ミルベール・エコディストリクト・ピボット2.0(地図の中の風景-79), 都市計画, Vol.66, No.4, 表紙裏, 2017
- 44) 村山顕人: Topics | 海外 エコディストリクト: 人間と地球を中心に据えた地区スケールの都市再生のモデル, 都市計画, Vol.65, No.5, p.8, 2016
- 45) 山田貴大・村山顕人: 東京における民泊の現状把握: 物件登録状況・法規制・住宅供給状況の分析を通して, 2016年度日本建築学会大会(九州)都市計画部門研究協議会資料「グローバルな人口流動と都市デザイン」, pp.73-76, 2016
- 46) 村山顕人・寺田徹: 立地適正化計画を巡る論点, 連載: 立地適正化のプラン・メイキング, 都市計画, Vol.65, No.2, pp.90-91, 2016
- 47) 村山顕人: 脱成長時代のメガシティ東京のかたち, ランドスケープ研究, Vol.79, No.3, 2015年10月, pp.228-229, 日本造園学会, 2015
- 48) 村山顕人: 名古屋市の市街地再生の基盤としての歴史まちづくり戦略, 日本建築学会都市計画委員会2015年度公開シンポジウム(研究会)「超高齢化社会における歴史都市の住生活まちづくり-市街地住宅と住環境整備のソフト・ハード-」資料, pp.23-26, 2015年11月
- 49) 村山顕人・廣井悠・福田篤史・倉田和己: 「ナゴヤ減災まちづくりビジョン」の策定と都市圏減災プランニング手法の研究, 2014年度日本建築学会大会(近畿)計画系災害研究ストラテジー[若手奨励]特別研究委員会パネルディスカッション資料「計画系若手研究者は災害研究にどう向き合うか: 次世代の災害復旧・復興・減災プロセスの構築へ向けて」, pp.58-59, 2014
- 50) 村山顕人・今野幸恵: 事例03 錦二丁目長者町(名古屋市中区)~まちづくり構想に基づく草の根的プロジェクトの展開~, 2014年度日本建築学会大会(近畿)都市計画部門研究協議会資料「地域ガバナンスと都市デザインマネジメント: 次世代へのインセンティブ」次世代のインセンティブに向けての都市デザインマネジメント事例集, pp.112-113, 2014
- 51) 山崎真理子・村山顕人・佐々木康寿: 都市の木質化プロジェクトの展開: 名古屋市都心部におけるストリート・ウッド・デッキ設置を巡る取り組み, 柚径(林経協季報そまみち), 2014年3月, No.32, 2014
- 52) 村山顕人・清水裕之: 日独シンポジウム報告: ランドスケーププランニングの新展開, BIOCITY, No.54, pp.122-124, ブックエンド, 2013
- 53) 村山顕人: 水循環を考慮した都市・田園の空間計画: 流域圏から街区群までのマルチスケールを考える, 環境と公害, Vol.42, No.4, pp.3-9, 岩波書店, 2013
- 54) 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える6: 環境の変化に対応するしなやかさ, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013年9月号, pp.4-5, 2013
- 55) 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える5: 地域まちづくりと都市デザイン提案, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013年7月号, pp.4-5, 2013
- 56) 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える4: 減災の視点から見直す都市計画, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013年5月号, pp.4-5, 2013
- 57) 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える3: ストリートウッドデッキの挑戦, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013年3月号, pp.6-7, 2013
- 58) 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える2: エコディストリクト: グリーンシティをつくる, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2013年1月号, pp.8-9, 2013
- 59) 村山顕人: 連載: これからの都市計画とまちづくりを考える1: 持続可能な安全安心社会を目指して, 日本建築家協会東海支部「ARCHITECT」, 2012年11月号, pp.6-7, 2013
- 60) 村山顕人: 米国の都市プランナーに求められる計画策定技術, 都市計画, Vol.61, No.4, pp.18-21, 2012

- 61) 村山顕人：名古屋における次世代の都市計画のイメージ，アーバン・アドバンス，No.56, pp.12-19, 名古屋都市センター，2011
  - 62) 村山顕人：シリーズ・巨大地震に備える：第9回：災害に強い都市づくりに向けて，愛知の建築，No.617, 2012年5月号，pp.12-13, 2012
  - 63) 村山顕人：建築の争点：「コンパクトシティ」と「間にある都市」，建築雑誌，vol.127, No.1632, 2012年5月号，p.45, 2012
  - 64) 村山顕人：まちづくりと都市の木質化：名古屋市中区錦二丁目長者町における試み，木材工業，Vol.67, No.4, pp.175-178, 2012
  - 65) 村山顕人：グリーンインフラストラクチャーから考えるアーバン・フォーム，2011年度日本建築学会大会（関東）都市計画部門パネルディスカッション資料「スマートシュリンクと空間管理：人口減少時代のアーバンフォームとマネジメント3」，pp.27-28
  - 66) 村山顕人：都市マスタープランの見直しから見た名古屋市の空間戦略の課題，特別連載企画「新しい公共」の仕組みづくりを検証する，季刊まちづくり，31号，pp.102-105, 学芸出版社，2011
  - 67) 村山顕人：文献抄録：都市デザインの入門書，建築雑誌（日本建築学会），Vol.123, No.1583, 2008
  - 68) 村山顕人：既成市街地の都市空間の協働的・持続的マネジメントに関する研究-名古屋市中区錦二丁目のケース・スタディ-，平成19年度名古屋都市センター特別研究報告，2008
  - 69) 村山顕人：米国における都市・国土政策の潮流，UED レポート：諸外国の国土政策・都市政策，日本開発構想研究所，2008
  - 70) 村山顕人：検証レポート・多様な価値観が共生する都市の景観：シアトルの取り組みから学ぶ，Future of Real Estate（不動産協会四季報），No.48, 2007年夏号
  - 71) 村山顕人：文献抄録：パブリック・コンセンサスのデザイン，建築雑誌，Vol.122, No.1564, 2007
  - 72) 村山顕人：おすすめの1冊・読者レビュー：安達正範・鈴木俊治・中野みどり著（2006）「中心市街地の再生：メインストリートプログラム」学芸出版社，2006年11月<<http://www.gakugei-pub.jp/mokuroku/syohyo/back/058main.htm>>
  - 73) 村山顕人・周藤利一：ソウルの清溪川はいかにして甦ったか？，地域開発，No.504, pp.53-59, 2006
  - 74) 村山顕人：連載：海外のまちづくり・都市再生の現状4：カナダ・トロント：都市圏の成長管理と自治体の都市計画，新都市，Vol.60, No.2, 2006
  - 75) 趙昇衍・村山顕人：連載：海外のまちづくり・都市再生の現状2：ソウル：チョンゲチョン復元事業と都心部政策の転換，新都市，Vol.59, No.11, 2005
  - 76) 村山顕人：連載：海外のまちづくり・都市再生の現状1：ボストン：ビッグ・ディック・プロジェクトと都市空間の再生，新都市，Vol.59, No.10, 2005
  - 77) 村山顕人：文献抄録：プランニングにおける情報の扱い方，2005年，建築雑誌，Vol.120, No.1537, 2005
  - 78) 村山顕人：ポータルランド - セントラルシティ・プランの策定プロセス，季刊まちづくり，5号，pp.45-52, 学芸出版社，2004
  - 79) 小泉秀樹，吉村輝彦，村山顕人，杉崎和久：「コミュニティ・ベイスト・プランニング」に関する研究レビュー，都市計画，Vol.50, No.5, pp.53-58, 2001
- 国内の招待講演等
- 1) 適応型計画アプローチとこれからの土地利用計画・市街地整備，公益社団法人全国市街地再開発協会令和5年度再開発セミナー，全国町村議員会館，2024.3.1<招待講演>
  - 2) 気候変動緩和・適応に向けた都市計画の挑戦，2023「世界都市計画の日」日本集会，ホテルルポール麹町，2023.11.8 <招待講演>
  - 3) サステナビリティからウォークアブルを考える，サステナビリティ×ウォークアブル in 東京，シティアラボ東京，2023.10.23
  - 4) Akito Murayama: Community-based Approach to Eco-Smart Districts, JICA 研修「都市計画総合」，JICA 東京，2023.10.12
  - 5) 地区スケールのまちづくり：課題や目標の設定/地域の参画・連携/プロジェクトの進め方，NTT グループ人材育成プログラム，オンライン，2023.9.21
  - 6) コロナと都市計画，2023年度日本建築学会大会 建築計画部門研究協議会「コロナが迫った建築計画の変革」，京都大学吉田キャンパス，2023.9.15
  - 7) Akito Murayama: Approche communautaire aux Quartiers intelligents et écologiques（逐語通訳），JICA 研修「仏語圏アフリカ都市計画総合」，JICA 横浜，2023.9.6
  - 8) 村山顕人：インナーコミュニティの持続的再生：エコディストリクトの枠組みと事例を中心に，集合住宅研究会，けんぼプラザ，2023.5.1
  - 9) 道路から広場へ，そのプロセスとデザイン，名古屋再開発推進フォーラム第2回専門家会議，2023.3.17
  - 10) 提言「名古屋まちづくりビジョン」について，提言「名古屋まちづくりビジョン 2030」シンポジウム名古屋商工会議所 2階ホール，2023.3.1 <招待講演>
  - 11) 暮らしの質を高める駅まち空間のデザイン，三郷駅前再開発の今がわかる！？まち育てフォーラム，2023.1.22
  - 12) レジリエントな都市とそのプランニング：都市計画とまちづくり分野のグローバルリスク対応から考える，日本建築学会地球環境委員会適応都市定義WG，2022.12.22
  - 13) これからの都市と都市計画のあり方：市街地の持続的再生と都市計画の転換，一般財団法人日本建築センター（BCJ），2022.12.15
  - 14) （パネルディスカッション参加）グリーンインフラ：自然の力をスマートに使う，四日市のまちなか再生シンポジウム，四日市商工会議所，2022.11.27
  - 15) Akito Murayama: Approche communautaire aux Quartiers intelligents et écologiques（逐語通訳），JICA 研修「仏語圏アフリカ都市計画総合」，JICA 横浜，2022.11.16
  - 16) Akito Murayama: Community-based Approach to Eco-Smart Districts, JICA 研修「都市計画総合」，オンライン，2022.10.31
  - 17) 中心市街地の持続的再生 -都市計画・気候変動対策の観点から-，第2回持続的成長に向けた商業・まちづくり有識者勉強会，経済産業省別館，2022.11.2
  - 18) 実効性と機動性のある計画システムを目指して：新しい「プランニングフレーム」の提案（長谷川隆三，高鍋剛，村山顕人，渡邊浩司），全国まちづくり会議 2022 in 東京・すみだ，千葉大学墨田サテライトキャンパス，2022.10.9
  - 19) まちの持続性を高めるエコディストリクトの取り組み，第2回白井市中心都市拠点づくりワーキング会議，白井市役所，2022.9.21 <招待講演>
  - 20) 名古屋市中区錦二丁目地区のまちづくりに見るヒト・コト・バ・ネットワーク，NPO 法人まちづくり協会 第113回 ミニフォーラム，オンライン，2022.9.20
  - 21) サステナブルな都市と地域をつくる：都市全体のかたちと地域のまちづくり，ぐんま「まちづくり」ビジョン シンポジウム，群馬会館2階ホール，2022.7.15 <招待講演>
  - 22) 都市計画・まちづくり分野の気候変動適応策，IPCC 報告書連携シンポジウム：気候変動の影響はどうなる？どう対応する？～IPCC 第6次報告書と日本の研究報告～，2022.4.26
  - 23) （パネルディスカッション・コーディネーター）スマートシティ構築の課題、求められる人材像，日本都市計画学会スマートシティ特別委員会 2022年度シンポジウム，2022.4.11
  - 24) （パネルディスカッション参加）メタバースとスマートシティ，三井不動産東大ラボシ

- ンポジウム, 東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール, 2022.3.22 収録
- 25) (パネルディスカッション参加)ポートランドまちづくりスクール 2021 特別セミナー: グリーンコミュニティの実現に向けて:ポートランドと日本(世田谷区)における気候変動とまちづくりの展望, 2022.3.15 収録動画公開
  - 26) エコディストリクトの概要と日本のまちづくりにおける意義, 日本都市計画学会第 150 回まちづくり懇話会: エコディストリクト・プロトコルの日本のまちづくりへの展開可能性 - 地域で公平性・レジリエンス・気候保護の課題に取り組むために -, 2022.3.10
  - 27) 「都市システムデザイン」アプローチによる国際都市デザイン演習 - ジョージア工科大学・国立環境研究所・東京大学の取り組み -, 令和 3 年度 INEX 推進協議会第 2 回 都市計画制度運用部会・都市計画とDX部会(合同開催), 2022.3.8 <招待講演>
  - 28) 小さなプロジェクトから街を変える, LIFORT シンポジウム, 2022.3.6, 前橋市広瀬町
  - 29) 脱炭素を実現するサステナブルシティとは, シティラボ東京サステナブルシティサミット II, 2022.2.5 <招待講演>
  - 30) コロナで変化する都市空間について: いかにか"Green Recovery"するか, 脱炭素社会推進会議複合災害対応タスクフォース 公開研究会, 2022.1.18
  - 31) エコディストリクト: ポートランドから世界の共通言語へ, ポートランドまちづくりスクール 2021, 2021.12.18
  - 32) 「都心周縁コミュニティの再生術」出版記念ブックトーク, 早稲田まちづくりセミナー #12, 2021.12.13
  - 33) いま求められるエリアビジョンのあり方, 錦二丁目&釜川エリアプラットフォームイベントセミナー, 2021.11.24
  - 34) 都市をデザインする仕事, 西武学園文理中学・高等学校模擬授業, 2021.11.1
  - 35) 新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性について, 埼玉県南 4 市まちづくり協議会都市計画専門部会, 蕨市民会館, 2021.11.17
  - 36) 都市のリ・デザインの観点から, これから進めるべき三の丸地区のまちづくり, 名古屋都市センター第 3 回三の丸研究会(機能導入部会), 2021.11.5
  - 37) これからの都市と都市計画のあり方, 一般財団法人日本建築センター(BCJ), 2021.11.10
  - 38) With/After コロナ時代のまちづくりを考える視点, 名古屋商工会議所地域開発委員会名古屋まちづくりビジョン研究会, 2021.11.4
  - 39) 既成市街地の更新と気候変動緩和・適応策, UR 都市環境セミナー, 2021.10.13
  - 40) With/After コロナ時代の都市計画を考える視点, 日本都市計画学会社会連携委員会, 2021.10.5
  - 41) エコディストリクトって何だろう? その枠組みと日米における実践, 馬場川通りアーバンデザインプロジェクト準備委員会第 1 回, K'BIX 元気 21 まえばし にぎわいホール, 2021.7.3 <招待講演>
  - 42) MaaS とスマートシティ: 自転車愛好アーバニストから見た都市計画, JCoMaaS モビリティセミナー/MaaS の部屋 第 1 回, 2021.6.16 <招待講演>
  - 43) 地区から取り組む都市のイノベーション, 地域金融 R&C フォーラム, 2021.5.28 <招待講演>
  - 44) これからの都市・地域のかたちを考える視点, 第 1 回 社会課題共有フォーラム「FUTURE ライフスタイル実現に向けて〜地域の魅力づくり」, 東海国立大学機構 FUTURE ライフスタイル社会共創拠点, 2021.3.11
  - 45) ポートランド都心部を形成した計画と新しいまちづくりの枠組み, ポートランドまちづくりスクール(第 4 回), 世田谷ポートランド都市文化交流協会, 2021.2.13
  - 46) 新たな社会環境における官民連携まちづくりの論点, 官民連携まちづくり DAY 2021, 国土交通省×全国エリマネ, 2021.2.5
  - 47) 持続可能な都市の将来空間像, 大阪科学技術センター大阪都市再生部会第 3 回研究会, 2020.12.7 <招待講演>

- 48) サステナブルな都市と地域を統合的に考える視点と枠組み: サステナブルまちづくり概論・第 1 回公開講座, CityLabTOKYO & empublic, 2020.10.29
- 49) クリエイティブなまちづくりと都市政策の連携〜アフターコロナの公共空間デザインと利活用〜, 日本都市センター第 23 回都市政策研究交流会, 2020.10.2
- 50) リニア開業・環境変化に適応する都市計画・まちづくり: 国土スケールから街区スケールまで, 第 1 回静岡市リニア中央新幹線開業後のまちづくり研究会, 2020.10.2
- 51) グローバル・リスクに適応する地域を実現するための 5 つのキーワード: N2/LAB 未来ビジョン研究会 # 1, 2020.10.2
- 52) 錦二丁目と名古屋心地区のこれから - 共通言語とプロジェクト - : N2/LAB (エヌツーラボ・錦 2 丁目エリアプラットフォーム) キックオフイベント, 2020.7.21
- 53) With/Post COVID-19 の都市のかたち, 名古屋再開推進フォーラム, 2020.5.25, オンライン<招待講演>
- 54) なごや交通まちづくりプランと錦二丁目低炭素地区まちづくり: トークイベント「ストリートデザイン・マネジメントが街を変える」, 2020.1.30, なごのキャンパス
- 55) 地区の取り組みから都市を変える SDGs 時代のアプローチ: ナゴヤまちづくりプラットフォーム, 2020.1.21, 名古屋商工会議所 <招待講演>
- 56) ニュータウンの将来に備え, これからの「まち空間」を考える(ディスカッション: 田島則行×新雅史×村山顕人): 令和元年度小金原地域シンポジウム, 2019.12.15, 松戸市小金原市民活動センター
- 57) タクティカル・アーバニズムと都市計画の転換: タクティカル・アーバニズム アカデミックサロン: 市民が関わる都市計画とパブリックスペース, 2019.12.9, 東京大学工学部 14 号館
- 58) SDGs 時代の地域まちづくりと都市マネジメント: 第 18 回適塾路地奥サロン, 2019.11.15, アルバック大阪事務所 <招待講演>
- 59) 環境・社会の持続性向上に貢献する都市計画・まちづくり: 令和元年度土地月間記念講演会, 2019.10.30, アルカディア市ヶ谷 <招待講演>
- 60) 都市構造の再編: 2019 年度(第 30 回)日本都市計画学会中部支部 公開シンポジウム「コンパクトでメリハリの効いたまちづくり〜持続可能で創造性あふれるまちづくりへの挑戦〜」, 2019.10.18, 浜松市地域情報センター
- 61) 地域から変える, これからの都市計画: 川崎市都市計画マスタープラン高津区・宮前区構想改定フォーラム: みんなで考える地域のこれからのまちづくり, 2019.8.31, 川崎市高津区役所 <招待講演>
- 62) マルチスケールの空間計画制度と社会的企業の可能性: 地区から始まる都市のイノベーション: 社会的企業に学ぶエリアブランディング〜いま, まちに広がる SDGs 時代の仕事, 2019.7.18, シティラボ東京
- 63) SDGs 時代の地域まちづくりと都市マネジメントへ: あいちまちづくりシンポジウム, 2019.6.13, 名古屋市中区役所ホール <招待講演>
- 64) リスクマネジメント/環境性能・持続性評価/投資・資金調達(モデレーター/ディスカッション): 日本都市計画学会都市計画法 50 年・100 年記念シンポジウム第 2 弾「都市計画の領域と新展開: 新たなフレームワークの構築に向けて」, 2019.5.31, 東京大学農学部弥生講堂
- 65) 都市農地から人口減少社会の将来像を考える(パネルディスカッション・パネリスト): 日本造園学会全国大会フォーラム「都市農地から人口減少社会の将来像を考える: コンパクトシティのための『農』の新たなあり方とポテンシャル」, 2019.5.24, つくば国際会議場 3F 中ホール 200
- 66) 都市計画・まちづくりを捉える枠組みとまちのビジョンの役割: 社会的企業に学ぶエリアブランディング〜いま, まちに広がる SDGs 時代の仕事, 2019.4.10, シティラボ東京
- 67) URBAN PLANNING X MOBILITY: FROM THE URBAN PLANNER'S PERSPECTIVE, 大

- 手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会設立 30 周年記念シンポジウム ～FACE 対面すれば、生まれる未来。～・トークセッション「URBAN PLANNING X MOBILITY」、2019.3.26, 東京商工会議所ホール&カンファレンスルーム (丸の内二重橋ビル)
- 68) ストリートから進める都市環境再生:名古屋市の長者町ウッドテラス・地域主導型社会実験の発展的循環プロセス:「ストリートデザイン・マネジメント」シンポジウム, 2019.3.3, 東京大学福武ホール B2F 福武ラーニングシアター
- 69) 都市・地域の計画とグリーンインフラストラクチャ:第9回グリーンインフラ研究会セミナー, 2019.2.19, 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング東京本部 24 階セミナー室
- 70) 地域創生のためのまちづくり:新松戸地域の公共施設とまちづくり～キックオフ・シンポジウム～, 2019.2.7, 松戸市青少年会館 2 階集会室
- 71) 環境負荷低減・減災に向けた都市の計画と低密度化する地区のデザイン:宇都宮市建設技術協会若手研修会, 2018.11.22, 宇都宮市上下水道局庁舎
- 72) 低密度化する地区のデザインと都市のプランニング:国土交通省 2050 年研究会～未来デザインフォーラム, 2018.11.9, 合同庁舎 2 号館低層棟 1 階共用会議室 2 A・2 B
- 73) これからの都市の空間戦略と拠点の役割:光の玄関づくり～光駅周辺の未来をかんがえる～シンポジウム, 2018.10.31, 光市民ホール <招待講演>
- 74) 人口減少社会においてマスタープランに何が出来るか?～日本型のプレイス・ペースト・プランニングを考える in さっぽろ～ (小泉秀樹×村山顕人×高鍋剛):日本都市計画家協会まちづくりカレッジ 2016 特別企画, 2018.6.30, さっぽろテレビ塔
- 75) Land Use Planning for Shrinking Cities in Japan, 人口都市シンポジウム 2018 "Shrinking Cities in Eastern Asia" (東アジアの人口減少都市), 2018.6.15, 東京大学工学部 1 号館 15 号教室
- 76) エコディストクト:既成市街地を持続再生する新たな挑戦, バリ協定に向けた世界の都市デザイン研究交流会, 2018.4.26, アーツ千代田 3331
- 77) 立地適正化計画の策定を契機にこれからの都市計画・まちづくりの枠組みを考える, 平塚市立地適正化計画策定に向けた勉強会 (第 3 回), 2018.3.29, 平塚市美術館ミュージアムホール
- 78) 海外の縮小都市政策に学ぶ:イタリア・トリノ:論点の提示 (パネルディスカッション):東大まちづくり大学院イブニングセミナー「海外の縮小都市政策に学ぶ:イタリア・トリノ」, 2018.3.8, 東京大学工学部 11 号館 1 階講堂
- 79) 地方創生に向けた都市空間の再構築:PROJECT-BASED VISION へ:中部経済連合会講演会「人口減少社会における地域の創生に向けて」, 2018.2.20, 栄ガスビル 5 階栄ガスホール <招待講演>
- 80) 人口減少時代の都市計画・マスタープラン (話題提供):司法書士総合研究所業務開発研究部会, 2018.1.10, 日本司法書士会館
- 81) 名古屋市の低炭素モデル地区における建物の更新と公共空間の再整備 (パネルディスカッション・話題提供):第 4 回低炭素社会推進会議シンポジウム「低炭素社会の実現に向けてストックをどう考えるべきか」, 2017.12.7 建築会館ホール
- 82) 「質の高い交通空間」のための交通調査はどうあるべきか (パネルディスカッション・話題提供):日本都市計画学会都市交通調査 50 周年記念シンポジウム, 2017.12.4, 東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール
- 83) 既成市街地にグリーンインフラを組み込む:エコディストリクトのアプローチ:第 4 回 DBJ 都市の骨格を創りかえるグリーンインフラ研究会, 2017.11.28, 大手町フィナンシャルシティ・グランキューブ 1 5 階会議室 7・8
- 84) マスタープランは必要か?～日本型のプレイス・ペースト・プランニングを考える～ (小泉秀樹×村山顕人×高鍋剛):日本都市計画家協会 J's カレッジ特別企画, 2017.9.22, 東京大学工学部 14 号館 141 講義室
- 85) DIVERSITY の視点から見直そう:土木計画学における研究と教育 (パネルディスカッ

- ション):平成 29 年度土木学会全国大会土木計画学研究委員会研究討論会, 2017 年 9 月 11 日, 九州大学伊都キャンパス センター 2 号 2203
- 86) 都市プランニング論:まちづくりリーダー育成プログラム第 3 回, 2017.7.18, 東京スクエアガーデン 6 階中央区立環境情報センター研修室
- 87) エコな街をつくる:新しい産官学民連携の形:中部 PFI/PPP 研究, 2017.6.27, キャッスルプラザ (名古屋)
- 88) 2050 年の都市を想像しよう!～まちはどう変わってきて、どう変わっていくのか～(レゴを使った 2050 年の柏の葉の構想の導入授業):未来こども学校, 2017.5.21, 東京大学工学部 14 号館 141 講義室
- 89) 錦二丁目ストリートウッドデッキ&長者町ウッドテラス:ソトノバ TABLE#16 Public Parklet Japan 2017 日本らしい「パークレット」を考えるアイデアソン, 2017.5.11 東京大学先端科学技術研究センター コミュニケーションラボ
- 90) みんなのまちづくりビジョン:シンポジウム「釜川から育む、まちのビジョン」, 2017.3.11 宇都宮市総合福祉センター 9 階 9A 会議室 <招待講演>
- 91) モデレーター:ディスカッション「地域経営の視点で考えるコミュニティの未来」, 松戸市公共施設マネジメントシンポジウム 05, 2017.3.7, 聖徳大学 10 号館
- 92) エコな街をつくる:コンセプトから実践へ:企業が語るいきものがたり Part10・分科会 2 グリーンエコノミーを支える都市のあり方, 2017.3.7 三井住友海上駿河台ビル 1 階
- 93) 地域の創生のためのまちづくり:中部経済連合会講演会「人口減少社会における地域の創生に向けて」, 2017.3.6 ホテルアソシア静岡 3 階「駿府」<招待講演>
- 94) 藤巻町:里山の維持・管理を担う新しい郊外住宅地へ名古屋市の緑の審議会・部会での検討を中心に, 名古屋市長東区藤巻町, 2017.3.2, 藤巻町自治会館
- 95) 環境負荷低減・減災に向けたマルチスケールの空間計画:話題 1:環境負荷低減・減災に向けたマルチスケールの空間計画、話題 2:エコディストリクト:持続可能な環境共生型の街づくりの手法:東京ガス第 5 回 エネルギー・環境講習会, 2017.2.22, AP 西新宿 4 階 ROOM 4-K&4-1
- 96) 人口減少時代のマスタープラン:日本都市計画家協会 (JSURP) まちづくりカレッジ「人口減少社会を読む 2:人口減少時代のプランニングの前提を考える」, 2016.12.20/2017.1.25, 日本都市計画家協会
- 97) ポートランドから始まった EcoDistricts のアプローチ:一般社団法人エコまちフォーラム エコまち塾, 2016.12.12, 東京コンベンションホール大ホール <招待講演>
- 98) 地区スケールの都市再生を通じた都市ビジョンの実現:EcoDistricts のアプローチ, 名古屋街づくり研究会第 2 回講演会・意見交換会, 2016.12.6, 名古屋都市センター 11 階ホール
- 99) 錦二丁目環境アカデミー・パネルディスカッション:企業のエネルギー配慮と不動産経営の効率化・環境不動産を活用したまちづくり, 錦二丁目環境アカデミー低炭素まちづくりのスパイラルアップ学習会 2・講座 2, 2016.10.26, 名古屋センタービル 9F
- 100) 錦二丁目環境アカデミー・趣旨説明及びパネルディスカッション:公共空間がもたらすまちの価値向上・これからの公共空間, 錦二丁目環境アカデミー低炭素まちづくりのスパイラルアップ学習会 2・講座 1, 2016.9.28, 名古屋センタービル 9F
- 101) 都市をリデザインするマスタープランニング, JSURP サマーキャンプ 2016 新たな都市プランニング・アーバニズムとシゴト, 2016.9.5 3x3 Lab Future
- 102) 三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針について:三重県市町都市計画担当者研修会, 2016.8.22, アスト津・アストホール
- 103) 都市における水循環の回復のために:都市における水循環の回復のために:Green Infrastructure + EcoDistricts, 中部大学 中部高等学術研究所第 3 回サステナブル流域水研究会「都市・土地利用のデザインと水環境」, 2016.7.4, 中部大学リサーチセンタ

- ー 2 階大会議室
- 104) 環境都市ポータランドのまちづくり, U-Talk, 2016.6.11, UT Cafe BERTHOLLET Rouge
- 105) 都市の木質化プロジェクトと低炭素地区まちづくり: 名古屋市錦二丁目での取り組みを中心に, 名古屋商工会議所木材部会, 2016.6.2, 名古屋商工会議所ビル 3 階第 3 会議室
- 106) 脱成長時代の都市・まちの将来像と空間計画, 第 7 回公共施設マネジメント研究会: まちづくりとしての公共施設マネジメント, 2016.3.30, 名古屋大学 ES 総合館 ES ホール
- 107) Tactical Urbanism とストリート. ストリートデザイン・マネジメント研究会公開ミニシンポジウム, 2016.3.15, 東京大学工学部 14 号館 1 階 141 講義室
- 108) 地域まちづくりの実践と都市計画・まちづくりの研究: 名古屋市中区錦二丁目および名東区藤巻町の事例から, 日本福祉のまちづくり学会住民参画・社会環境特別研究委員会第 2 回公開研究会「福祉のまちづくりにおける住民参画と合意形成の課題ーその(2)」, 2016.3.12, 東洋大学白山キャンパス 1 号館 5 階 1503 教室
- 109) 名古屋都心部のまちづくりとエリアマネジメント: 2030 年に向けて都市のイノベーション, 名古屋都市再開発研究会まちづくり情報交換会, 2016.2.23, 名古屋商工会議所 <招待講演>
- 110) 錦二丁目環境アカデミー・総括: 錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト 1 年目, 錦二丁目環境アカデミー低炭素まちづくりのスパイラルアップ学習会第 4 回, 2016.2.10, 名古屋センタービル 9F
- 111) 脱成長時代の都市・まちの将来像と空間計画 (ショートレクチャー+ディスカッション), まちを支える未来のハコモノ: 松戸市公共施設マネジメント・シンポジウム 02, 2016.1.31, 聖徳大学 10 号館 14 階
- 112) 超高齢化社会における歴史都市の住生活まちづくり～市街地住宅と住環境のソフト・ハード～ (パネルディスカッション・コーディネーター), 日本建築学会・白河市主催平成 27 年歴史まちづくりシンポジウム, 2015.11.14, りぶらん (白河市立図書館) 地域交流会議室
- 113) 横須賀市における都市づくりの方向性 (パネルディスカッション), 横須賀市都市計画シンポジウム, 2015.11.12, 横須賀市役所 3 号館 5 階正庁
- 114) ライフスタイル変革を促す低炭素地区まちづくりプロジェクトの事例とその方法: 名古屋市錦二丁目低炭素モデル地区における実践を中心に, 日本都市計画学会第 50 回学術研究論文発表会ワークショップ「都市環境の改善整備による低炭素ライフスタイル変革とその評価の試み」, 2015.11.7, フェニックス・シーガイア・リゾートアクティブで健康な都市のコンセプト, 亀山市中期戦略会議研修, 2015.11.2, 亀山市役所
- 116) 低炭素まちづくりの戦略と戦術: 錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト, 錦二丁目環境アカデミー低炭素まちづくりのスパイラルアップ学習会第 1 回, 2015.9.28, 名古屋センタービル 9F
- 117) 「コンパクト・シティ」と「間にある都市」: 持続可能な都市形態を求めて, 常葉大学法学部地域法政策研究・実践センター第 19 回地域活性化勉強会, 2015.9.26, 清水テルサ 7 階会議室 C
- 118) グリーン・シティ・ポータランドの街と暮らし: 地方都市のこれからを考える, 静岡県ふじのくに地域・大学コンソーシウム/常葉大学法学部地域法政策研究・実践センター共同公開講座 2015 第 1 回 オープンデータを使った地域課題の解決と地方都市の暮らし, 2015.9.25, 常葉大学水落校舎 403 教室
- 119) 錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクトの挑戦: 既成市街地の持続的再生を目指す産官学民協働のまちづくり, (公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県生涯学習推進センター 主催あいち学びネットワークフォーラム「みんなで考えよう! 環境にやさしいまちづくり」, 2015.9.12, 愛知県生涯学習推進センター
- 120) 持続可能でレジリエントな将来に向けて地域まちづくりと都市計画の枠組みを再考する, JSPS-DFG 二国間研究セミナー「持続的でレジリエントな都市計画を目指して」, 2015.9.8-9, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
- 121) 神戸大学持続的住環境創成講座 SLED レクチャー「シアトル都心部の高架道路の撤去・トンネル化とウォーターフロントの再生へ多様な主体の参加を前提とした空間変容過程のプランニング～」, 2015.6.22, 神戸大学工学部産学連携室 3W-101
- 122) 10 年後の東京から振り返る現在 (パネルディスカッション), 公益財団法人日本造園学会 90 周年記念全国大会公開シンポジウム「過去と未来からみる都市のランドスケープ」, 2015.5.23, 東京大学農学部 (弥生) キャンパス弥生講堂一条ホール
- 123) 産業のレジリエンシーを考慮した広域圏減災プランニング手法に関する実務者・専門家ワークショップ (報告), 「産業・広域インフラから広域減災ビジョンを考える」シンポジウム討論, 名古屋都市センター減災まちづくり研究会, 2015.3.21, 名古屋大学減災館
- 124) 既成市街地の持続的再生を目指すまちづくり構想と実現プロジェクト, スマートシティ・セミナー～低炭素都市名古屋を目指して～, 名古屋市・名古屋商工会議所, 2015.3.20, 名古屋商工会議所 5 階 A B C 会議室 <招待講演>
- 125) 地震・津波災害に強いまちづくりフォーラム～過去の地震に学ぶまちづくり～ (パネルディスカッション), 国土交通省中部地方整備局, 2015.3.6, 名古屋国際センター別棟ホール
- 126) 錦二丁目まちづくり協議会交流会「錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト: 既成市街地における地域主体の長期的・漸進的な低炭素地区形成のモデル」, 2015.2.19, 吉田商事 1 階
- 127) 都心部のエリアマネジメントに関わる話題提供: 地区のマネジメントから都心部のマネジメントへ, 名古屋都市再開発研究会まちづくり情報交換会, 2015.2.13, 名古屋商工会議所
- 128) 名古屋駅地区街づくり協議会の新春セミナー「街のオープンスペースを考える」, 名古屋駅地区街づくり協議会, 2015.1.28, キャッスルプラザ <招待講演>
- 129) 平成 26 年度公共交通シンポジウム in 中部「持続可能なまちづくりと地域公共交通ネットワーク形成」 (パネルディスカッション), 国土交通省中部運輸局・中部地方整備局, 2014.12.3, ミッドランドホール
- 130) 長者町ウッドテラスの位置付け (解説・全体コーディネート), 錦二丁目・長者町境界まちづくり・まちのしゃべり場: 「長者町ウッドテラス」社会実験を考える (主催: JUDI 都市環境デザイン会議中部ブロック・錦二丁目まちづくり協議会), 2014 年 10 月 11 日, 吉田商事 1 階
- 131) National Institute for Environmental Studies Global Carbon Project Seminar "Land Use Planning for Climate Change Response and Disaster Mitigation - Initiatives in Nagoya at Urban and District Scales -", 2014.6.30, National Institute for Environmental Studies, Tsukuba
- 132) 神戸大学持続的住環境創成講座 SLED レクチャー「シアトルのセントラル・ウォーターフロントの再生とそれを支える計画策定技法」, 2014.6.23, 神戸大学工学部産学連携室 3W-101
- 133) 錦二丁目まちづくり公開シンポジウム「ところで、錦二丁目の『低炭素』って何?」 (全体コーディネート), 錦二丁目まちづくり協議会・錦二丁目町内会連合会共催, 2014.4.11, 名古屋センタービル 9 階会議室
- 134) 都市空間のサステナブル・リノベーション, 公益財団法人愛知県都市整備協会第 5 回まちづくり+α 講習会, 2014.3.24, ウイंकあいち 902 大会議室

- 135) 名古屋都心のエリアマネジメントを取り巻く、環境の変化と今後について、名古屋都市再開発研究会都心活性化委員会シンポジウム「まちづくりは自らの手でⅣ」、2014.2.25, 名古屋商工会議所5階会議室 BC <招待講演>
- 136) THE 討論！「ナゴヤ版」減災まちづくりを考える(ワークショップ報告)、減災まちづくり研究会, 2014.2.11, 名古屋都市センター11階ホール
- 137) 地震・津波災害に強いまちづくりシンポジウム～地震・津波災害に強いまちづくりに向けた今後の取り組み～(パネルディスカッション)、国土交通省中部地方整備局, 2014.2.13, テレピアホール
- 138) 2030年に向けた都市計画のアプローチ、愛知県居住施策に関する意見交換会, 2014.1.28, 愛知県東大手庁舎4階401会議室
- 139) 20年後の暮らしのシナリオプランニング、津島市減災まちづくりビジョン・ユースワークショップ「20年後も住み続けたい未来の津島を考える」、2014.1.26, 津島市児童科学館視聴覚室
- 140) 錦二丁目長者町における低炭素まちづくりの実践：低炭素街区群デザインの社会実装のアプローチ、環境省環境研究総合推進費1E-1105「低炭素社会を実現する街区群の設計と社会実装プロセス」最終成果報告シンポジウム, 2014.1.25, 名古屋大学ES総合館ESホール
- 141) 錦二丁目ストリートウッドデッキ(パネルディスカッション・コーディネーター)、名古屋大学グローバルCOEプログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」国際シンポジウム：臨床環境学の構築：アジアの視点, 2013.12.16, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
- 142) リニア中央新幹線名古屋駅の建設とオープンスペースの創出、都心楽会 NAGOYA vol.7 メイエキ×リニアのミライ, 2013.12.13, 名古屋都市センター11階ホール
- 143) 街のオープンスペースを考える、深谷市市民まちづくり講演会, 2013.11.30, セツ梅酒造跡東蔵ホール <招待講演>
- 144) 環境・減災の視点から考える名古屋の都市戦略、名古屋大学建築学科創設50周年記念事業記念シンポジウム「災害とまちづくり - 第15回まちとすまいの集い」、2013.11.9, 名古屋大学豊田講堂
- 145) 地域主導の低炭素まちづくりの展望、環境省環境研究総合推進費1E-1105自治体対象セミナー「これからの低炭素まちづくりの発想と実践」、2013.11.7, 名古屋市役所
- 146) まちを元気にする地域まちづくりの挑戦、UR技術・研究報告会特別講演, 2013.10.22, 電気文化会館イベントホール
- 147) リニア中央新幹線と名古屋：2027年に向けた名古屋都心のビジョンを考える、建設コンサルタンツ協会中部支部「都市整備ワーキング」講習会, 2013.10.17, 建設コンサルタンツ協会中部支部
- 148) コミュニティ・文化を支える空間づくりの処方箋、名古屋大学GCOEプログラム主催：環境・文化芸術まちづくりへの処方箋：低炭素・アート・豊かなくらし, 2013.9.22, 愛知芸術文化センター
- 149) 緑のまちづくりフォーラム：緑による都市のブランディング(名古屋市緑政土木局緑地部緑地計画課主宰)(パネリスト)、2013.8.25, 名古屋都市センターホール
- 150) 減災と環境の視点から考えるこれからの都市計画、防災・減災のまちづくりへのキックオフ・シンポ in つしま 2013, 2013.4.7, 津島市生涯学習センター大ホール
- 151) シアトルの成長戦略と空間形成、中部経済連合会第3回街づくり・観光委員会講演, 2013.3.14, 中部経済連合会 <招待講演>
- 152) 名古屋のまちの未来に向けて：地域まちづくりの現場で建築士にながでできるか、愛知建築士会名古屋東支部講演会, 2013.2.23, 昭和ビル5階愛知建築士会会議室
- 153) エリアマネジメント：資金確保の議論に向けて、名古屋都市再開発研究会都心活性化委員会講演, 2013.2.19, 名古屋商工会議所
- 154) 米国の都市・国土政策と都心部の再生：シアトルの事例を中心に、JAPIC中部委員会幹事会講演, 2013.2.13, 大林組名古屋支店
- 155) まちの魅力を磨き、育てるエリアマネジメント、地域問題研究所第40次(平成24年度)市町村セミナー第11講, 2013.1.16, 名古屋栄ビルディング・特別会議室 <招待講演>
- 156) 錦二丁目長者町のまちづくりと空間デザイン、環境省環境研究総合推進費プロジェクト公開セミナー：低炭素で魅力的なまちの実現に向けて, 2012.12.2, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
- 157) 名古屋駅地区の再開発とオープンスペース、都心楽会 vol.5, 2012.12.14, 名古屋都市センターホール
- 158) 環境に配慮した都市計画・まちづくり、北区生涯学習センター公開講座, 2012.12.7, 名古屋市北区生涯学習センター <招待講演>
- 159) 減災まちづくりの考え方、名古屋大学減災連携研究センター第18回げんさいカフェ, 2012.11.18, 名古屋大学カフェフロント
- 160) 都市のグリーン・インフラストラクチャーをつくる、愛知学長懇話会：持続可能な都市の空間計画：環境と減災の視点から, 2012.11.8, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
- 161) 減災まちづくりの考え方、愛知学長懇話会：持続可能な都市の空間計画：環境と減災の視点から, 2012.11.15, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
- 162) 栄地区の都市再生：質の高い都市空間を形成するためのコンセプト、栄都市再生研究会講演, 2012.11.30, UR都市機構中部支社 <招待講演>
- 163) 持続可能な安全安心社会を目指すまちづくり、駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援事業講演, 2012.11.2, 沖縄総合事務所 <招待講演>
- 164) 都市のグリーン・インフラストラクチャーをつくる、中部の環境を考える会、環境調和型のまちづくり：都市計画の最先端, 2012.10.20, 名古屋港湾会館第5会議室 <招待講演>
- 165) 地域まちづくりと新しい計画制度、名古屋市住宅都市局2012年度第1回地域まちづくり研修, 2012.10.17, 名古屋都市センター・ホール
- 166) 名古屋の都市形成史と震災を見据えた今後の都市計画・まちづくり、2012年度度本建築学会大会(東海)記念シンポジウム「名古屋・愛知・東海の防災とまちづくり」、2012.9.14, 名古屋大学豊田講堂
- 167) 都市のグリーンインフラストラクチャーをつくる：高架構造物の撤去または再利用を通じた都市空間の再生、第49回エコデザインセミナー, 2012.8.31, おおさかATCグリーンエコプラザ・ビオトーププラザ <招待講演>
- 168) パネルディスカッション・コーディネーター、東海環状自動車道大垣西IC-養老JCT間開通記念シンポジウム, 2012.7.20, 大垣市情報工房スイंकホール
- 169) 都市のビジョンを描く、西武文理学園創立45周年記念講話, 2012.6.23, 西武学園文理中学校BSホール <招待講演>
- 170) 環境と災害に強いまちづくり、TAMANO TECHNICAL OPEN COLLEGE, 2012.4.13, 玉野総合コンサルタント
- 171) 広域交通インフラの整備とまちづくり、亀山商工会議所通常議員総会記念講演, 2012.3.28, 亀山商工会館2階ホール <招待講演>
- 172) アドバイザー、名古屋都市再開発促進協議会・名古屋都市再開発研究会シンポジウム「街づくりは自らの手でⅡ」, 2012.3.19, 名古屋商工会議所
- 173) 地域まちづくりにおける様々な連携の可能性、愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会2011年度度公開シンポジウム, 2012.1.24, 名古屋都市センター・ホール

- 174) 防災・環境・超高齢化と名古屋のまちづくり, なごや環境大学・なごや環境学 2011 「リスク管理とまちづくり」, 2012.1.28, 伏見ライフプラザ
- 175) コーディネーター, 2011 年度本建築学会東海支部シンポジウム「まちづくりのステップ・アップ: 地区スケールの空間ビジョンを描くために」, 2011.11.13, 名古屋都市センター・ホール
- 176) 論点提示: 日本都市計画学会 60 周年記念パネルディスカッション「『都市計画』の志向する未来『都市計画学』の拓く道」, 2011.11.19
- 177) 土地区画整理事業からエコなエリア・マネジメントへ: 土地区画整理事業の事業効果を踏まえた今後の展開: 全日本土地区画整理士会愛知県支部・愛知県土地区画整理研究会, 2011.11.4, 昭和ビル 9 階大会議室
- 178) 名古屋の都市計画と減災, JIDA 中部ブロック・セミナー「プロダクトデザインと都市計画の視点から減災に関する提案」, 2011.10.8, 株式会社バッファロー本社 9 階
- 179) パネリスト, 名古屋市都市計画マスタープランシンポジウム・パネルディスカッション「駅そばまちづくりと都市防災」, 2011.10.15, 名古屋都市センター11 階大ホール
- 180) アートプロジェクトと都市計画, 文化経済学会<日本>2011 年度研究大会シンポジウム, 2011.7.2, 名古屋大学 1B 電子情報館 2 階大講義室
- 181) 都市のマスタープランと防災, 第 50 期名古屋市民大学講座, 2011.5.11, ウィンクあいち 5 階小ホール 1 <招待講演>
- 182) コメンテーター, 名古屋都市再開研究会全体会議「街づくりは自らの手で: 名古屋市中心部のエリアマネジメント活動」, 2011.3.8, 名古屋商工会議所 3 階第 1 会議室
- 183) 活動報告コーディネーター, 三重県景観シンポジウム「景観からはじめるまちづくり」, 2011.1.23, 鈴鹿市ふれあいセンター
- 184) コーディネーター, 名古屋アメリカンセンター・(財)愛知県国際交流協会主催 Anita Maltbia 氏講演会「グリーン化による地域再生--アメリカの事例 Green Impact Zone-」, 2011.1.19, 愛知県三の丸庁舎 8 階 大会議室
- 185) 都市のマスタープランと防災, 第 62 回名古屋大学防災アカデミー, 2010.9.24, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
- 186) 亀山市都市マスタープランと交通まちづくり, リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市市民会議講演会, 2010.7.14, 亀山市文化会館 <招待講演>
- 187) 都市のグリーン・インフラストラクチャーをつくる, 名古屋大学大学院環境学研究所しんきん環境事業イノベーション寄附講座第七回環境学公開講演会, 2010.6.11, 豊田産業文化センター <招待講演>
- 188) 名古屋都心部の土地利用戦略の方向性, 名古屋市議会 21 世紀まちづくり特別委員会, 2009.12.16, 名古屋市公館 <招待講演>
- 189) 都市中心部のマネジメントを支える都市づくりの戦略, 名古屋都市再開研究会全体会議, 2009.10.21, 名古屋商工会議所 5 階会議室 D <招待講演>
- 190) 都心コミュニティの計画とデザイン, 栄ミナミ地域活性化協議会主催第 5 回栄ミナミまちづくりフォーラム, 2009.6.24, プリンセスガーデンホテル <招待講演>
- 191) 企画展出展作品に見る都市型住宅の提案, 日本建築学会東海支部都市計画委員会・(財)名古屋都市センター都市居住シンポジウム, 2008.12.7, 名古屋都市センター11 階大研修室
- 192) パートナーシップによる地域の特色を生かした都市づくり, 全国市町村国際文化研修所演習導入講義, 2008.10.3, 全国市町村国際文化研修所
- 193) まちづくりのビジョンとその実現, 名古屋市茶屋新田地区土地区画整理事業勉強会, 2008.10.21, 名古屋都市整備公社会議室
- 194) 都市圏の成長管理と街なか空間の再生, 三重県市町都市計画担当者研修会特別講演, 2008.7.9, 三重県津庁舎 6F 大会議室

- 195) 多主体参加型まちづくりの 5 つのカタチ (パネリスト報告), 自治基本条例シンポジウム「安城の条例づくりとまちづくり」, 2008.7.13, 安城市民会館 3 階大会議室
- 196) 市民主導のまちづくり: 美しい都市・田園環境を次世代に, 石薬師地区明るいまちづくり推進協議会主催石薬師地区景観まちづくり講演会, 2008.3.19, 三重県鈴鹿市石薬師公民館二階ホール
- 197) 持続可能な都市再生とエリア・マネジメント (パネリスト報告): 名古屋都市再開研究会主催名古屋駅地区魅力再生シンポジウム, 2008.3.21, ミッドランドスクエア・ミッドランドホール
- 198) 環境問題に対する都市計画の挑戦, 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学教室平成 19 年度まちとすまいの集い「地球温暖化と都市・建築」, 2007.12.15, 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
- 199) 次世代のための生活街づくり, 亀山市都市マスタープランまちづくりワークショップ第 2 回: 2007.11.23, 亀山市総合保健福祉センター「あいあい」2 階会議室
- 200) コーディネーター, 名古屋アメリカンセンター主催 Chester Liebs 教授講演会「アメリカの母なる道: ルート 66 から学ぶ」, 2007.6.27, 各務原市役所
- 201) 錦二丁目のまちづくりマスタープランを考える: 米国から学ぶ多縁協働の都市デザインマネジメント, 錦二丁目緑側大学 2007・まちのデザイン塾, 2007.5.16, 名古屋センタービル <招待講演>
- 202) 持続可能な都市再生のための計画技法: 海外諸都市の取り組みから, 愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会 2007 年度総会記念講演, 2007.5.18, 名古屋都市センター <招待講演>
- 203) 長久手古戦場駅周辺のまちづくりに向けて: 駅を中心とした新しい複合開発の考え方, 平成 18 年度長久手中央土地区画整理事業第 2 回勉強会, 2007.2.25, 長久手町役場
- 204) ボストン高架道路路理設と合意形成, 神田芸芸実行委員会「緊急討論: 首都高速理設と本橋川の景観を考える」, 2006.8.12, ちよだプラットフォームスクウェア
- 205) 高架構造物の撤去・再利用を通じた都市空間の再生: ボストン, サンフランシスコ, シアトル, ニューヨークの事例, 財団法人土地総合研究所第 116 回講演会, 2006.3.13 <招待講演>
- 206) 街なか再生と市民参加: 岩手県第 3 回いわて都市政策研究会, 2005.10.12, 北上市ツインモールプラザ <招待講演>
- 207) 歴史的資産の保全・活用等によるにぎわい再生に向けたまちづくり: 埼玉県深谷市における街なか再生の取り組み, 都市計画協会まちづくり講習会, 2004.3.19 <招待講演>

## ■創造的活動

### ◆作品

- 1) 一般社団法人都市計画コンサルタント協会 2050 年都市ビジョン研究会: 2050 年都市ビジョン (Urban+Planning VISION 2050) 提言書 ver 1.0: アフターコロナを見据えた 2050 年の社会像・都市像と都市・地域計画領域におけるアプローチ, 2021.6 <https://www.toshicon.or.jp/upvison2050>
- 2) N2/LAB 錦二丁目エリアプラットフォーム・錦二丁目エリアマネジメント株式会社: 錦二丁目未来 VISION, 2021.3, <https://mirai-nishiki2.nagoya>
- 3) 一般社団法人都市計画コンサルタント協会 2050 年都市ビジョン研究会: Urban + Planning VISION 2050 (中間とりまとめ) -アフターコロナを見据えた 2050 年の社会像・都市像と都市・地域計画領域におけるアプローチ (論点) -, 2020.9 [https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2020/09/UPVision\\_report1.pdf](https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2020/09/UPVision_report1.pdf)



- 4) Claudia Cassatella and Akito Murayama eds: Planning for the global urban agenda. Shaping ecodistricts in Tokyo suburbs, Politecnico di Torino, 2018, <http://hdl.handle.net/11583/2712031>
- 5) 名古屋都市センター減災まちづくり研究会：名古屋大都市圏減災まちづくりビジョン～常に進化する協働型ビジョン～，2016.3
- 6) 名古屋都市センター減災まちづくり研究会：ナゴヤ減災まちづくりビジョン～巨大災害と復興に備える～，2014.3
- 7) 名古屋都市センター・オープンスペース・デザイン研究会：名古屋都心のオープンスペース・デザイン，2013.3
- 8) 港まちづくり協議会：みんなとまち VISION BOOK 2013-2018，2013.3
- 9) 都市の木質化プロジェクト（河崎泰了，佐々木康寿，滝一之，藤森幹人，船橋浩三，村山顕人，山崎真理子，米津文彦ほか）：錦二丁目ストリートウッドデッキ，名古屋市中区錦二丁目，木造，2012.11
- 10) 錦二丁目まちづくりマスタープラン作成企画会議（延藤安弘，堀田勝彦，船橋浩三，村山顕人，武藤隆，鈴木弘司，伊藤孝紀，春日和俊，戸村達彦，河崎泰了，桑名寛一，根元理，原愛樹，坪井俊和，藤森幹人，名畑恵）：これからの錦二丁目長者町まちづくり構想（2011-2030），2011.4
- 11) 名古屋都市センター都心ビジョン研究会：名古屋都心ビジョン 2030，2011.4
- 12) 東京都都市整備局・東京大学：「緑農住」まちづくりガイドライン・「緑農住」まちづくりハンドブック，大学提案事業「新しい『緑農住』まちづくり事業」，2022.3.29

◆発明・特許  
なし

#### ■研究費獲得状況

- 1) 高架構造物の撤去・再利用を通じた都市空間再生の計画手法に関する研究（科学研究費補助金・若手研究(B)：2006年度～2008年度）[村山顕人]
- 2) 大都市インナーシティの再生に向けた建築・都市空間の計画・デザイン手法：名古屋市中区錦二丁目ケース・スタディを通じて（財団法人旭硝子財団研究助成：2009年度～2010年度）[村山顕人]
- 3) 子育て都市環境の計画・デザインに関する研究（「子育て日本一」を目指す水の都・大垣市との連携・受託研究：2010年度～2012年度）[村山顕人]
- 4) 都市のグリーン・インフラストラクチャをつくる（Creating Urban Green Infrastructure）（米国社会科学研究評議会（Social Science Research Council）CGP-SSRC政策フォーラム研究支援金：2010年度）[村山顕人]
- 5) 地域特性に応じた都市の将来像アセスメントのための計画技法と解析技術の研究（科学研究費補助金：2011年度～2013年度）[木内望ほか]
- 6) 大垣市子育て世代に選ばれる都市戦略会議（大垣市受託研究/地域総合整備財団＜ふるさと財団＞平成25年度まちなか再生支援事業：2013年度）[村山顕人]
- 7) 低炭素社会を実現する街区群の設計と社会実装プロセス（環境省環境研究総合推進費）（2011年度～2013年度）[加藤博ほか]
- 8) 南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト・サブプロジェクト1：地域連携減災研究（2013年度～2019年度）[名古屋大学ほか]
- 9) 長期的な視点からのレジリエントな都市圏創造に関する研究/レジリエントな都市圏創造を実現するプランニング手法の確立（JST 戦略的創造研究推進事業・社会技術研究開発）（2012年度～2015年度）[廣井悠ほか]
- 10) 地域防災対策支援研究プロジェクト『地域力向上による減災ルネサンス』（2013年度～2017年度）[護雅史ほか]

- 11) 適切な生態的国土管理のための生態的国土管理基礎コストの算出（科学研究費補助金・基盤研究(B)：2014年度～2015年度）[清水裕之ほか]
- 12) 諸外国の公共交通指向型開発（TOD）施策に関する研究調査（株式会社日建設計総合研究所：2014～2015年度）[城所哲夫・村山顕人]
- 13) 低炭素ライフスタイルイノベーションを展開する評価手法構築に関する研究（既成市街地のまちづくりを通じた都心型低炭素ライフスタイル・ワークスタイルの評価方法構築）（環境省）：2014年度～2015年度 [村山顕人・NPO法人まちの縁側育くみ隊・大日本コンサルタント株式会社]
- 14) 「ストリート」の管理と利活用を通じた公共空間の公共性と地域ガバナンスの段階的発展（科学研究費補助金・基盤研究(A)：2014年度～2016年度）[出口敦ほか]
- 15) Implementing the United Nations' New Urban Agenda - Universities in Action（Compagnia di San Paolo within the Politecnico di Torino Joint Projects for the Internationalization of Research 2017: September 20, 2017 - September 19, 2018）[Claudia Cassatella, Akito Murayama, Marco Santangelo, Giancarlo Cotella, Akiko Iida, Takahiro Yamazaki, Kaoru Matsuo, Fumihiko Seto]
- 16) 世界標準を目指す「エコディストリクト」枠組みの日本の低炭素地区まちづくりへの適用（科学研究費補助金・基盤研究(C)：2018年度～2022年度）[村山顕人]
- 17) レスポンシブル・ツーリズムを軸とする持続的地域開発のモデル構築—カンボジア・ブレアビビア州における実践的問題解決型研究—（公益財団法人鹿島学術振興財団2018年度研究助成：2019・2020年度）[村山顕人ほか]
- 18) 新しい「緑農住」まちづくり - 緑地・農地と一体となった市街地の再整備にかかわるパイロット事業とその政策論的展開（東京都・大学研究者による事業提案制度採択プロジェクト：2019年度～2021年度）[横張真ほか]
- 19) 農と都市のレイヤー構造にもとづく動態的な都市・地域計画手法に関する研究（科学研究費補助金・基盤研究(B)：2019年度～2022年度）[横張真ほか]
- 20) 地域の土地利用・市街地環境への気候変動影響予測と持続的再生方針の検討と評価（環境研究総合推進費 S-18：気候変動影響予測・適応評価の総合的研究）（2020年度～2024年度）[村山顕人ほか]
- 21) Social Distancing による社会の脆弱性克服・社会的公正の回復と都市の再設計（2020年度～2021年度）[林良嗣ほか]
- 22) 健康都市計画手法の開発と2つの深刻な温暖化に直面する成長国都市への応用（国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)））（2020～2023年度）[飯塚悟ほか]
- 23) 三井不動産東大ラボ「都市の経年優化」WG2（共同研究）2020年度～2022年度 [村山顕人ほか]
- 24) 気候変動緩和・適応策導入のための参加型市街地デザイン手法の開発と実装（科学研究費補助金・基盤研究(B)：2023年度～2027年度）[村山顕人ほか]
- 25) プラットフォームの都市計画・エリアマネジメントへの展開（戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）/スマートエネルギー・マネジメントシステムの構築/エリアエネルギー・マネジメントシステムのプラットフォーム開発と実装/都市のデジタルツイン空間における統合的シミュレーション技術の開発，2023年度～2027年度）[村山顕人]

#### IV. 教育実績

■名古屋大学担当授業（2006～2015）

◆学部

- ・都市・国土計画（建築学コース・環境土木コース，2006-2014）
- ・空間設計工学及び演習第2（建築学コース，2007-2013）
- ・建築設計及び演習第2（建築学コース，2006）
- ・総合設計及び演習第1・第2（建築学コース計画系，卒業設計，2006-2013）
- ・卒業研究（2006-2013）
- ・基礎セミナーA（全学教養，2007-2009）
- ・図学B（物理工学科，2010-2015）

#### ◆大学院

- ・都市計画論（都市環境学専攻+他研究科・他大学，2006-2014）
- ・建築・都市設計実習（建築学コース，2007-）
- ・都市環境学地域貢献実習（建築学コース，2009・2010・2012）
- ・環境学英語特別講義\*（建築学コース国際ワークショップ，2010・2012・2013）
- ・環境・安全マネジメントセミナー（2006-2013）
- ・その他，オムニバス形式の授業多数（全学教養，体系理解科目，GCOE，NUGELP）

（西暦は年度を示す）

- \*一部、環境学英語特別講義として、パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校（ENSA-PVS）との国際建築・都市設計ワークショップを担当。以下は担当したワークショップの開催概要。
- ・2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009  
「地下鉄茶屋ヶ坂駅を中心とする複合市街地の再生」  
（会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、名大大学院生 40 名が参加）
  - ・2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine  
（会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、名大大学院生 4 名が参加）
  - ・2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010 春  
「名古屋駅地区のアーバン・デザイン・プラン」  
（会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、名大大学院生 36 名が参加）
  - ・2011年9月：国際建築・都市設計ワークショップ 2011 秋  
「Bercy-Poniatowski 地区の建築・都市設計提案」  
（会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、名大大学院生 5 名が参加）
  - ・2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012 春  
「減災に向けた地区スケールの計画・デザイン」  
（会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、名大大学院生 27 名が参加）
  - ・2013年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013 春  
「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」  
（会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、名大大学院生 17 名が参加）
  - ・2013年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013 秋  
「ハイウェイのない都市を構想する」  
（会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 15 名、名大大学院生 5 名が参加）
  - ・2014年4月：GSES-NU/ENSA-PVS/Tianjin-U 合同建築・都市設計ワークショップ 2014 春  
「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」  
（会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、天津大学大学院生 1 名、名大研究生・大学院生

21 名が参加

#### ■早稲田大学担当授業（2013）

- ・Fundamentals of Urban Studies and Planning（2013）

#### ■東京大学担当授業（2014-）

#### ◆学部（教養学部）

- ・初年次ゼミナール理科「東京の街を歩き、その空間について考える」（2015-2020）

#### ◆学部（都市計画コース）

- ・土地利用計画論（2014-）
- ・地区の計画とデザイン（2016-）
- ・都市工学演習 A（2014-）
- ・Sustainable Urban Management（2015, 2017-2019, 2022-）

#### ◆大学院（都市計画コース）

- ・都市計画特論第3（2015-）
- ・都市プロジェクト演習（2016-）
  - ・2017 Misono Smart City Studio（ジョージア工科大学・国立環境研究所との共同）
  - ・Tokyo Smart City: 2018 International Urban Design Studio（ジョージア工科大学・国立環境研究所との共同）
  - ・Nishi-Tokyo Studio 2017: Shaping Ecodistricts in the Tokyo Suburbs（トリノ工科大学との共同）
  - ・Nishi-Tokyo Studio 2018: Shaping Ecodistricts in the Tokyo Suburbs
  - ・Shinagawa Smart City Studio 2019: Applying Urban Systems Design to the New Gateway of Tokyo（ジョージア工科大学・国立環境研究所との共同）
  - ・Shinagawa East Zero-Carbon City Design 2020: Applying Urban Systems Design to the New Gateway of Tokyo（ジョージア工科大学・国立環境研究所との共同）
  - ・Nihonbashi Smart City Urban Design 2021: Carbon Neutral, Climate Resilient and Covid-19 (3C) Conscious Urban Systems Design of the Post-Pandemic Cities（ジョージア工科大学との共同）
  - ・DESIGNING LOW-CARBON URBAN NEIGHBORHOOD IN NIHONBASHI EAST, TOKYO 2022（ジョージア工科大学との共同）
- ・世界の都市計画 E（2019-）

#### ◆大学院（都市持続再生学コース（社会人向け東大まちづくり大学院））

- ・まちづくり演習第1（2015-）
- ・都市空間政策概論第1（都市地域計画論・基礎編 I）（2019-2022）
- ・都市空間政策概論第5（都市地域計画論・基礎編 II）（2019-2023）
- ・都市空間政策概論第1（都市地域計画論・基礎編）（2023-）
- ・応用都市空間政策論第3（脱炭素論）（2023-）

#### ◆輪講（学部・大学院共通）

- ・都市工学（特別）輪講（2015-）
- ・都市工学グローバル輪講（2015-）

- Online International Seminar on Zero Carbon City Design 2021 (2020)

#### ◆インターネット講義

- edX course on "Sustainability Science - A Key Concept for Future Design" (Joint Work), 2017  
https://www.edx.org/course/sustainability-science-key-concept-utokyox-utokyo006x
- Global Course on Institutional Design and Spatial Planning, 2018  
Lecture 10 "Introduction to Urban Land Use Planning in Japan"  
http://globalcourse.inplanning.eu

#### ■慶應義塾大学大学院担当授業 (2021-)

- 持続可能都市システム基礎 (一部を担当)
- 持続可能都市システム応用 (一部を担当)
- 都市システムデザイン演習 (一部を担当)

(西暦は年度を示す)

#### ■指導学生の状況

##### ◆名古屋大学指導学生数 (2006.10-2014.3)

- 学部卒業生 : 16 名
- 修士課程修了生 : 14 名
- 博士課程修了生 : 3 名

##### ◆東京大学指導学生数 (2014.4-2023.9)

- 学部卒業生 : 45 名
- 修士課程修了生 : 44 名
- 博士課程修了生 : 7 名

## V. 社会的貢献

#### ■学協会役員等

- 1) 2005-2009 日本建築学会文献抄録委員会都市計画部会委員
- 2) 2006-2013 日本建築学会東海支部都市計画委員会委員 (2008 から幹事)
- 3) 2009-2013 日本都市計画学会中部支部幹事 (国際交流委員会担当)
- 4) 2010-2012 日本建築学会論文集委員会委員
- 5) 2010-2013 日本都市計画学会学術委員会委員
- 6) 2010 日本都市計画学会 2010 年度 (第 45 回) 学術研究論文発表会  
名古屋大学実行委員会委員
- 7) 2011-2014 日本都市計画学会会長アドバイザー会議委員
- 8) 2011-2012 2012 年度日本建築学会大会 (東海) 実行委員会委員
- 9) 2013- 日本建築学会住まい・まちづくり支援建築会議支援事業部会委員
- 10) 2013-2014 2014 年度日本建築学会大会 (近畿) 都市計画部門研究協議会資料作成  
WG
- 11) 2014-2022 日本都市計画学会編集委員会委員
- 12) 2014- 都市住宅学会編集委員会委員

- 13) 2014-2015 計画行政学会持続可能性アセスメント研究専門部会メンバー
- 14) 2015-2019 日本建築学会都市計画本委員会委員
- 15) 2015-2018 日本建築学会都市計画委員会  
選択可能な市街地環境整備とインナーコミュニティまちづくり小委員会  
主査
- 16) 2015 日本建築学会 2015 年度日本建築学会大会 (関東) 大会研究協議会 WG
- 17) 2017-2019 日本都市計画学会研究交流分科会 (実務と研究の連携のための研究会)
- 18) 2017-2019 日本都市計画学会研究交流分科会 (都市規模や地区特性によるエリア  
マネジメントの人材育成の考え方と研修プログラムの作成に関する  
研究)
- 19) 2017- 日本都市計画学会会長アドバイザー会議委員
- 20) 2017 日本建築学会奨励賞選考委員会委員
- 21) 2019-2020 日本建築学会都市計画本委員会幹事
- 22) 2020- 日本都市計画学会スマートシティ特別委員会委員、  
同都市のあり方と制度小委員会幹事・委員長 (2022-)
- 23) 2020- グリーンインフラプラットフォーム企画広報部会幹事
- 24) 2021-2022 日本建築学会ウイズ/アフターコロナに適応する建築・都市に関する  
特別調査委員会
- 25) 2021- 日本都市計画学会防災特別委員会第 2 部会 (気候変動への対応) 部会員
- 26) 2021- 全国エアーマネジメントネットワーク・日本都市計画学会エアーマネジ  
メント人材育成研究会・UDC ネットワーク : エリアマネジメント研究  
交流会実行委員会委員

(西暦は年度を示す。)

#### ■学会誌・国際的学術雑誌編集委員等

##### ◆国内学会学会誌編集委員

##### ●日本都市計画学会編集委員会委員 (2014-2022)

- 1) 後藤純, 村山頭人 (特集担当編集委員) 「特集 : 都市マスタープランは進化・深化した  
か?」都市計画, 348, 2021 年 1 月号, 日本都市計画学会
- 2) 寺田徹, 村山頭人, 小泉秀樹 (特集担当編集委員) 「特集 : 都市像再考—計画における  
目標像の意義」都市計画, 345, 2020 年 7 月号, 日本都市計画学会
- 3) 内田奈芳美, 村山頭人 (特集担当編集委員) 「特集 : 埼玉を『解剖』する」都市計画,  
333, 2018 年 7 月号, 日本都市計画学会
- 4) 村山頭人 (特集担当編集委員) 「特集 : エコな街をつくる : 地区スケールの環境ガバ  
ナンス」都市計画, 327, 2017 年 7 月号, 日本都市計画学会
- 5) 村山頭人 (特集担当編集委員) 「特集 : 成熟時代のオリンピック・パラリンピック大  
会と都市のイノベーション」都市計画, 319, 2016 年 3 月号, 日本都市計画学会

##### ●都市住宅学会編集委員会委員 (2014-)

- 1) 村山頭人・中川雅之 (特集担当編集委員) 「特集 : 大都市における都市住宅の量と配置  
を考える」都市住宅学, 113, 2021 年春
- 2) 岸田里佳子, 村山頭人 (特集担当編集委員) 「特集 : 都市居住と農・緑の新しい関係へ  
〜「田園住居地域」の創設と民間活力による農地・緑地保全活用施策の展開」都市住宅  
学, 101, 2018 年春

##### ◆国際的学術雑誌編集委員等

- 1) 2008-2014 Journal of Place Management and Development Editorial Advisory Board
- 2) 2008 Brownfields 2008 International Scientific Advisory Committee Member
- 3) 2014- Journal of Asian Urbanism Editorial Board

#### ■国際会議・国際シンポジウム組織委員、プログラム委員等

- 1) 名古屋大学グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」・日本都市計画学会中部支部共催：日独シンポジウム「ランドスケープデザインの最新潮流」, 2012.11.5 (企画・運営担当)
- 2) 名古屋大学グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」・日本都市計画学会中部支部共催：日独シンポジウム「ランドスケープデザインの最新潮流2」, 2013.1.7 (企画・運営担当)
- 3) 名古屋大学グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」・DFG (German Research Foundation) 日独シンポジウム：縮退する地域と都市の持続可能な地域計画：ドイツと日本の研究交流, 2013.10.3 (企画・運営担当)
- 4) Organizing Committee Member, The First International Conference of International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration (IASUR) "Sustainable Society as Our Challenge", October 24-27, 2014, Kashiwa-no-ha Gate Square, Kashiwa City, Chiba, Japan (企画・運営担当)
- 5) Organizing Committee Member, International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration (IASUR) Student Workshop 2016 on Asian Approach to Urban Regeneration in Yogyakarta, Indonesia, August 8-12, 2016, Universitas Gadjah Mada (企画・運営担当)
- 6) Organizer, Workshop on Practice and Research in Urban Sustainability Assessment, August 17-18, 2016, Lecture Room 141, Faculty of Engineering Building 14, Hongo Campus, The University of Tokyo, Co-hosted by International Association for Impact Assessment Japan Branch, Global Carbon Project Tsukuba International Office, and Japan Society of Urban and Regional Planners (企画・運営担当)
- 7) Science Committee Member, Sustainable Built Environment Conference 2019 "Built Environment in an Era of Climate Change. How can cities and buildings adapt?", August 6-7, The University of Tokyo Komaba Campus 1 - KOMCEE
- 8) Organizing Committee Member, The Second International Conference of International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration (IASUR) "Green Building and Smart City", March 29-31, Xi'an University of Architecture and Technology, Xi'an, China (企画・運営担当)
- 9) 世界運河会議企画委員会委員, 日本・名古屋市, 2021年5月21日～23日
- 10) 国際オンライン・セミナー「With/After COVID-19 時代のレスポンスブル・ツーリズム：カンボジアと日本の事例, 2022.2.21 (企画・運営担当)

#### ■公的な審議会、委員会等における貢献

- 1) 2007-2010 鈴鹿市景観計画策定アドバイザー
- 2) 2007-2008 幡豆町地域ブランド活性化計画策定サポーター
- 3) 2007-2010 三重県都市計画審議会臨時委員 (三重県都市マスタープラン改定)
- 4) 2007-2010 亀山市都市マスタープラン市民協議会委員
- 5) 2008-2013 鈴鹿市都市計画審議会委員 (2012・2013：会長)
- 6) 2008-2014 長久手町(市)都市計画審議会委員
- 7) 2008- 多治見市建築紛争調停委員会委員
- 8) 2008-2009 名古屋市住宅都市局都心交通プラン検討会委員
- 9) 2008-2010 鈴鹿市景観計画策定委員会委員長

- 10) 2009-2013 鈴鹿市景観審議会会長
- 11) 2009-2010 三重県都市計画審議会小委員会 (北勢圏域・都市計画区域マスタープラン策定検討委員会) 委員長
- 12) 2009-2010 三重県都市計画審議会小委員会 (東紀州圏域・都市計画区域マスタープラン策定検討委員会) 委員長
- 13) 2009-2010 長久手町都市計画マスタープラン策定委員会委員
- 14) 2009-2011 四日市市次期総合計画策定専門アドバイザー (土地利用分野)
- 15) 2009-2011 大山市都市計画マスタープラン策定委員会副会長
- 16) 2009-2013 大垣市都市みらい戦略会議アドバイザー
- 17) 2009-2011 名古屋市住宅施策あり方検討委員会委員
- 18) 2009-2011 名古屋市都市計画審議会専門委員 (名古屋市都市計画マスタープランに関する調査)
- 19) 2010-2011 名古屋市低炭素都市なごや戦略実行計画協議会駅そば・風水緑陰・低炭素「住」部会専門委員
- 20) 2010-2021 亀山市都市計画審議会委員 (2017-：会長)
- 21) 2010-2011 名古屋市歴史まちづくり戦略有識者懇話会委員
- 22) 2010-2012 中川運河再生検討委員会・部会委員
- 23) 2010-2012 鈴鹿市景観アドバイザー
- 24) 2010 鈴鹿市平田野中学校移転改築計画建設コンサルタント特定委員会委員長
- 25) 2010-2013 大垣市都市計画景観審議会委員
- 26) 2010-2012 亀山市総合計画審議会会長
- 27) 2010-2011 国土交通省中部地方整備局「新たなモビリティ社会の構築と都市機能強化に関する調査」検討会委員
- 28) 2010-2013 碧南市景色づくり委員会副委員長
- 29) 2011 名古屋商工会議所「"名古屋の魅力"発見・発信に繋がる都心活性化」審査委員会審査員
- 30) 2011-2013 名古屋市交通まちづくり推進協議会委員
- 31) 2011-2013 名古屋都市整備公社名古屋都市センターオープンスペースデザイン研究会委員
- 32) 2011-2013 名古屋市地震対策専門委員会 (災害に強いまちづくり分科会) 委員
- 33) 2011-2015 名古屋都市整備公社名古屋都市センター減災まちづくり検討会・研究会委員
- 34) 2011-2012 名古屋市鳴海駅前第2種市街地再開発事業(C区工区)特定建築者審査委員会委員
- 35) 2011-2012 名古屋都市整備公社・駅そば街区の集約型まちづくり研究会会員
- 36) 2011-2013 四日市市中心市街地活性化基本計画策定委員会委員長
- 37) 2011-2012 北名古屋市鉄道沿線まちづくり検討会副委員長
- 38) 2011-2013 愛知県東海・東南海地震・南海地震等被害予測調査リスク評価WG委員
- 39) 2012-2013 名古屋市既存住宅活用施策の検討に係る懇談会委員
- 40) 2012 長久手市公園西駅周辺環境配慮型まちづくり基本構想策定委員会副委員長
- 41) 2012-2013 国土交通省中部地方整備局地震・津波災害に強いまちづくり検討委員会委員
- 42) 2012 名古屋市「名古屋駅周辺のまちづくり検討調査委託」に係るプロポーザル審査委員会委員
- 43) 2012 名古屋市「地域まちづくり手引書作成業務委託」に係るプロポーザル審査委員会委員長

44) 2012 名古屋市「重点地域まちづくり基本方針策定検討調査業務委託」に係る  
プロポーザル審査委員会委員長

45) 2012 名古屋市「駅そばまちづくり検討調査委託」に係るプロポーザル審査  
委員会委員長

46) 2012-2013 国土交通省国土交通政策研究所動的土空間利用勉強会コアメンバー

47) 2012-2015 鈴鹿市都市マスタープラン見直し検討委員会委員

48) 2012-2013 長久手市公園西駅周辺環境配慮型まちづくり基本計画策定委員会  
副委員長

49) 2012-2013 津島市地域防災計画見直し検討委員会委員

50) 2012-2014 名古屋市防災まちづくり計画検討会

51) 2013-2016 北名古屋市都市計画審議会委員

52) 2013-2018 愛知まちなみ建築賞選考委員会委員

53) 2013 亀山市亀山駅周辺市街地総合再生基本計画策定検討委員会委員長

54) 2013- 中川運河再生推進会議委員

55) 2013-2021 三重県都市計画審議会委員

56) 2013-2016 三重県都市計画審議会地震・津波対策都市計画指針策定検討小委員会  
委員

57) 2013 愛知県新しい地域づくりビジョン有識者懇談会県土基盤分科会委員

58) 2013-2019 名古屋市緑の審議会委員

59) 2013-2015 名古屋市緑の審議会緑地保全施策検討部会委員

60) 2013 長久手市公園西駅周辺公共空間デザインアイデアコンペ審査委員会  
委員長

61) 2013-2020 鈴鹿市景観審議会専門部会委員

62) 2014-2015 横須賀市都市計画マスタープラン見直し検討会議委員

63) 2014-2015 静岡市都市計画マスタープラン懇話会委員

64) 2014- 鈴鹿市都市計画審議会臨時委員

65) 2015-2018 国土交通省行政事業レビュー外部有識者会合メンバー

66) 2015-2016 豊田市総合計画審議会委員

67) 2015-2020 墨田区景観審議会委員

68) 2015-2016 公益財団法人名古屋まちづくり公社名古屋都市センター企画委員

69) 2015-2016 名古屋市緑の審議会公園緑地のあり方検討部会委員

70) 2015-2016 静岡市環境影響評価審査会委員

71) 2015- 西東京市都市計画審議会委員 (2021年度から会長)

72) 2015-2016 亀山市総合計画審議会会長

73) 2015-2017 名古屋市都市計画審議会立地誘導部会委員

74) 2015-2018 静岡市立地適正化計画策定アドバイザー会議委員

75) 2016-2018 豊田市都市計画マスタープラン策定懇談会委員

76) 2016 三重県都市計画審議会都市計画基本方針検討小委員会委員長

77) 2016-2023 松戸市公共施設再編整備推進審議会委員

78) 2016-2020 白河市景観審議会専門部会委員

79) 2017 三重県北勢圏域マスタープラン策定検討委員会委員長

80) 2017 三重県東紀州圏域マスタープラン策定検討委員会委員長

81) 2017-2018 深谷市立地適正化計画策定協議会副会長

82) 2017- 東京都豊島区環境審議会委員

83) 2017-2018 八重洲・日本橋・京橋まちづくりビジョンの実現化方策推進に対する  
アドバイザー

84) 2017-2021 埼玉県都市計画審議会委員

85) 2017-2021 静岡市都市計画審議会委員

86) 2017-2018 東京都心部における質の高い緑誘導方策の検討調査円卓会議委員

87) 2017-2018 亀山市都市マスタープラン市民協議会委員長

88) 2017 名古屋商工会議所躍動し愛されるナゴヤ研究会委員

89) 2017-2018 近鉄四日市駅周辺等整備基本構想検討委員会委員

90) 2018-2019 名古屋市緑の審議会専門部会委員 (なごや緑の基本計画 2020 の改定  
について)

91) 2018-2019 名古屋市都市計画審議会専門委員 (新たな時代に対応した都市づくりの  
あり方調査)

92) 2018 非集約エリアにおけるオープンスペースの保全・活用及び管理  
マネジメントに関する検討会

93) 2018- 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 CASBEE 街区認証委員会  
委員

94) 2018 一般社団法人中部経済連合会 中部圏の将来ビジョン策定アドバイザー

95) 2018-2020 三重県都市計画区域マスタープラン策定検討委員会 (北勢圏域) 委員

96) 2018-2020 三重県都市計画区域マスタープラン策定検討委員会 (東紀州圏域) 委員

97) 2018- 芝山町都市計画審議会会長

98) 2018- 芝山町都市計画マスタープラン策定委員会委員長

99) 2018-2019 四日市市立地適正化計画検討会議委員

100) 2018-2019 公益財団法人日本都市センターネクストステージの総合計画に関する  
研究会委員

101) 2018-2019 公益社団法人全国市街地再開発協会 これからの都市開発・再開発に  
ついで研究会

102) 2018-2019 鈴鹿市景観審議会委員・審査部会員

103) 2019 白河市立地適正化計画策定アドバイザー

104) 2019-2020 岡崎市専門委員 (市政アドバイザー)

105) 2019 国土交通省都市局「駅まち再構築勉強会」委員

106) 2019-2020 国土交通省国土政策局「企業等の東京一極集中に関する懇談会」委員

107) 2019 UR 都市機構インナーシティ再生検討会座長

108) 2019-2021 UR 都市機構海外展開支援専門家

109) 2019-2020 調布市緑の基本計画策定委員会委員

110) 2019-2020 一般社団法人都市計画コンサルタント協会 2050年都市ビジョン研究会

111) 2020-2021 町田市都市計画審議会専門委員  
(「(仮称)町田市都市づくりのマスタープラン」策定委員)

112) 2020- 四日市市中央通り再編関係者調整会議委員

113) 2020- 鎌倉市都市政策専門員

114) 2020-2021 公益財団法人日本都市センターグローバル化する地域社会における  
まちづくりに関する研究会宛会委員

115) 2020-2021 国土交通省都市局駅まちデザイン検討会委員

116) 2020 国土交通省都市局データ駆動型社会に対応したまちづくりに関する  
勉強会

117) 2020- 世田谷区環境審議会委員

118) 2020 環境省 IGES カーボンニュートラルに向けた都市地域炭素マッピング等  
イノベーション手法研究会委員

119) 2020-2021 群馬県住宅供給公社中期経営計画検討会

120) 2021- 一般社団法人いきもの共生事業推進協議会 (ABINC) 理事・認証委員会  
委員 (2023-)

121) 2021- 三郷市都市計画審議会会長

122) 2021 鎌倉市深沢地域まちづくりガイドライン作成支援コンサル選定委員会

- 委員長
- 123) 2021- 板橋区都市づくり専門家会議委員
- 124) 2021- 港区市街地再開発事業事後評価委員会
- 125) 2021 令和3年度国土交通省まちづくり法人表彰等審査委員会
- 126) 2021 国際協力機構 (JICA) 「スマートシティアプローチ適用性に係る情報収集・確認調査」国内支援委員会委員
- 127) 2021- 国土交通省社会資本整備審議会都市計画基本問題小委員会委員
- 128) 2021- 四日市市スマートリージョン・コア推進協議会幹事会座長
- 129) 2021- 四日市エリアプラットフォーム専門家
- 130) 2021-2022 群馬県住宅供給公社中期経営計画検証委員会委員
- 131) 2022-2023 文京区都市マスタープラン見直し検討協議会委員
- 132) 2022- 横須賀市都市計画専門委員
- 133) 2022-2023 名古屋市低炭素都市なごや戦略実行計画の改定に係る有識者懇談会委員
- 134) 2022-2023 所沢市都市計画審議会委員 (専門委員)
- 135) 2022- 横須賀市都市計画審議会会長
- 136) 2022- 岡崎市総合政策指針審議会委員
- 137) 2022- 鎌倉市都市計画審議会副会長
- 138) 2022- 相模原北口地区土地利用計画検討会議委員
- 139) 2023- 赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会会長
- 140) 2023- 名古屋次期総合計画有識者懇談会
- 141) 2023- 国際協力機構 (JICA) 「カンボジアのシムリアップにおける都市課題解決のためのスマートシティアプローチ実践プロジェクト」国内支援委員会委員
- 142) 2023- 千葉県都市計画審議会委員 (会長職務代理)
- 143) 2023- 世田谷区都市計画審議会都市整備方針 (地域整備方針) アドバイザリー会議委員
- 144) 2023- 芝山町立地適正化計画策定委員会委員長
- 145) 2023- 国土交通省集団規定に係る基準検討委員会委員
- 146) 2023- 一般社団法人カーボンニュートラル・ウェルビーイング・ラボ理事

## VI. その他

### ■受賞歴

#### ◆研究に関する受賞

- 1) 村山顕人：東京大学博士学位論文「成熟都市の計画策定技法の探究：米国諸都市のダウントウン・プラン策定に見る方法と技術」, 日本都市計画学会論文奨励賞, 2004
- 2) Mari Watanabe, Akito Murayama: Reclaiming Urban Streets: Comparative Analysis of Planning Process, Cost and Technical Standards of "Parklets" in San Francisco and Los Angeles, The Best Presentation Award, The First International Conference of International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration (IASUR) "Sustainable Society as Our Challenge", October, 2014 at Kashiwa City, Japan
- 3) 原科幸彦・小泉秀樹・柴田裕希・姥浦道生・片山健介・松行美帆子・多島良・村山顕人・風見正三・村山武彦：都市・地域の持続可能性アセスメント：人口減少

- 時代のプランニングシステム (学芸出版社・2015年), 2015年度日本環境共生学生会学会賞「著述賞」, 2015年9月26日
- 4) Yuri Akizuki with Rikutarō Manabe and Akito Murayama: Temporary places made by mobile retailers to support disadvantaged shoppers, Best Poster Presentation Award, 3rd International Conference on Health Care, SDGs and Social Business, November 19-21, 2019 at Fukuoka, Japan
  - 5) 久保夏樹, 村山顕人, 真鍋陸太郎, 山崎潤也, 深谷麻衣, 日下田伸, 諸隈紅花, 堤遼, 小松航樹: エコディストリクト研究会の活動報告, エリアマネジメント研究アワード (Area Management Research Award) (実践報告部門), エリアマネジメント研究交流会第1回, オンライン, 2021年7月10日
  - 6) 山崎潤也, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 温熱環境シミュレーションを活用した気候変動適応まちづくりワークショップの方法: 名古屋市中区錦二丁目地区における実践を通じて, エリアマネジメント研究アワード (Area Management Research Award) (ベストプレゼンテーション), エリアマネジメント研究交流会第2回, オンライン, 2022年7月2日
  - 7) 吉田崇紘・松尾和史・平野勇二郎・村山顕人: Carbon Terrain: 二酸化炭素排出量でみる日本の地形, マップギャラリー2022・マップ部門第1位, 第19回GISコミュニティフォーラム (2022年5月19-20日), ESRI ジャパン株式会社
  - 8) 山崎潤也, 森田結圭, 名畑恵, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 温熱環境調査・解析と模型制作を組み合わせた気候変動適応まちづくりワークショップ手法: 名古屋市中区錦二丁目地区における実践を通じて, エリアマネジメント研究アワード (Area Management Research Award) (研究部門) エリアマネジメント研究交流会第3回, 2023年7月1日, シティラボ東京
  - 9) 深谷麻衣, 山崎潤也, 吉田崇紘, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 社会課題に対応する先進的な BID 等の事例調査報告: 米国・英国・スウェーデンの4事例に着目して, エリアマネジメント研究アワード (Area Management Research Award) (調査部門) エリアマネジメント研究交流会第3回, 2023年7月1日, シティラボ東京
  - 10) 福山遼平, 山崎潤也, 似内遼一, 真鍋陸太郎, 村山顕人: 多主体参加型の気候変動適応まちづくりワークショップ手法 その2: 社会実験を踏まえた予算制約下での施策導入場所の検討, 第20回環境情報科学ポスターセッション, 事務局長賞, 2023年12月18日, 環境情報科学研究発表大会, 日本大学会館

#### ◆教育に関わる受賞

- 1) University of Groningen (coordinator), the University of Washington, the University of Tokyo, Renmin University of China and Newcastle University: Global Course on Institutional Design and Spatial Planning, AESOP Excellence in Teaching Award 2018, Association of European Schools of Planning, July 2018
- 2) 2018年東京大学工学部ベストティーチングアワード (2017年度都市工学科「土地利用計画論」), 2019年3月
- 3) 都市工学演習担当教職員一同 (計画系・環境系): 東京大学工学系研究科長 (教育業績), 2021年1月21日
- 4) 村山顕人: オンライン授業・ハイブリッド授業のグッドプラクティス東京大学総長表彰, 2021年3月22日

#### ◆実務 (社会的貢献) に関わる受賞

- 1) 都市の木質化プロジェクト (河崎泰了・佐々木康寿・滝一之・藤森幹人・船橋浩

- 三・村山頭人・山崎真理子・米津文彦ほか)：錦二丁目ストリートウッドデッキ、日本木材青壮年団体連合会第16回木材活用コンクール第4部門(ランドスケープ・インсталレーション)賞, 2013
- 2) 名古屋大学都市の木質化プロジェクト・愛知県・錦二丁目まちづくり協議会：都市の木質化プロジェクト, (特)活木活木森ネットワーク・(公社)国土緑化推進機構・(株)ユニバーサルデザイン総合研究所ウッドデザイン賞 2016、2016
  - 3) 錦二丁目まちづくり協議会(2008年度から協働会員、2013年度から低炭素地区会議議長)：まちづくり構想の策定、再開発事業計画作成、リノベーション等のまちづくり、平成29年度まちづくり功労者国土交通大臣表彰, 2017年6月
  - 4) 村山頭人：鈴鹿市市政功労表彰(地方自治の推進：2007年以降に同市の都市計画・景観計画に参画), 2022年12月1日

#### ■新聞・インターネット記事掲載状況

- 1) 西尾市の市街地活性化への中間報告：名大の大学院生ら, 中日新聞, 2007.6.6
- 2) 西尾の都市環境デザイン描く：若者の視点で課題を分析：名大生がまちづくり実習, 2007.6
- 3) 名大院生が中心市街地の活性化案：実習で都市環境デザイン, 2007.6
- 4) 名大生が幡豆町を分析：地域ブランド活性化計画に向け発表会, 2007.7
- 5) 西尾の"まち"の理想像提案：若者目線で活性化探る：名大院生が最終講評, 2007.8
- 6) 本町に街づくり公園や工房を：名大院生が都市環境で提案：西尾で実習成果を最終報告, 2007.8
- 7) Japanese educator takes waterfront tour, Plan Philly News (Internet), 2007.8.20
- 8) Megacidades: Grandes Reportagens - Toquio (Internet), 2008.8
- 9) 鈴鹿市：来年、景観行政団体に -- 県内5番目/三重, 2008.11
- 10) 名古屋の都市生活：学生が模型や意見：金山で企画展, 2008.11
- 11) 鈴鹿市がきょう景観行政団体に：三重県内5番目, 2009.1
- 12) ガーデンふ頭に人波つくれ！ 地元学生が再開発議論, 2009.10
- 13) 特集：若い感性が名古屋港を再発見！ ガーデンふ頭ミニシャレット, 2009.11
- 14) ガーデンふ頭：学生が再開発提案：名港管理「参考に」, 2009.11
- 15) 緑を生かした景観づくりを：鈴鹿市長に素案提出：市計画策定委, 伊勢新聞, 2010.2.18
- 16) 研究室探訪：「長者町」の再生を支援, 名古屋大学工学部村山頭人准教授 33, 2010.3.19日
- 17) 名古屋都心の「長者町」まちづくりを木質化で：都市再生に流域材を使うことで森林も再生：名古屋大学・都市の木質化プロジェクト：林材新聞, 2011.2.10
- 18) 東海環状自動車道大垣西(仮称)インターチェンジ周辺開発について小川敏大垣市長に提言, 大垣商工会議所ホームページ, 2011.4.5
- 19) リニアがもたらす革命：未来都市・名古屋の姿：都心ビジョン2030, 通建新聞, 2012.1.1
- 20) 北名古屋市：名鉄犬山線連立化を検討：年度内にまちづくり構想, 2012.7.27
- 21) 2012年度日本建築学会[東海]記念シンポジウム「名古屋・愛知・東海の防災とまちづくり」が豊田講堂にて開催, 中日新聞, 2012.9.9
- 22) 都市機構：名古屋で技術・研究報告会：村山名大准教授が特別講演, 2013.10
- 23) 「水生かしたまち」提案：大垣市でシンポ：定住促す都市像探る, 岐阜新聞西濃版, 2014.2.2
- 24) 子育て選ばれる街に：大垣都市戦略考えるシンポ, 中日新聞西濃版, 2014.2.5
- 25) 住民が責任持つ必要：名古屋長者町通：歩道拡幅でシンポ, 毎日新聞, 2014.10.17
- 26) 「低炭素の街」名古屋市、2事業認定, 日本経済新聞, 2015.2.13
- 27) 低炭素モデル2事業に認定証：名古屋市, 日本経済新聞, 2015.2.16
- 28) 低炭素都市へ：2モデル地区：壁緑化やエネルギーセンター：市が認定, 読売新聞, 2015.2
- 29) 港区と中区：2地区の再開発：低炭素モデルに認定, 中日新聞, 2015.2.18
- 30) 歴史的資産で活性化：まちづくりシンポジウム：白河市, 建設工業新聞, 2015.11.8
- 31) 計画策定足りない財源：村山頭人・東大准教授に聞く, 中日新聞, 2016.12.5
- 32) これからの都市計画を考える：地区スケールの都市再生とそれを編集する都市のプランニング, 日刊建設産業新聞, 2016.12.16
- 33) En fortaelling om to byer, Weekendavisen, 2017.1.6
- 34) 村山頭人・東大准教授：幸せな都市縮小を, 日本経済新聞(朝刊), 2017.11.9
- 35) 再開発のジレンマ「中身」決まらぬ巨大ビル 名古屋(リニア時代へ変わる名古屋) 日本経済新聞(朝刊), 2018.3.2
- 36) 亀山市 都市計画決定向け答申 駅周辺整備で審議会 三重, 伊勢新聞, 2018.3.15
- 37) タワマン乱立、児童あふれ小学校悲鳴 東京湾岸地区(コメント掲載), 日本経済新聞(朝刊), 2018.4.1
- 38) 名古屋の暮らしやすさ リニア機にアピールを(インタビュー), 中日新聞(朝刊), 2018.7.21
- 39) What Does It Take to Create Great Cities? (Jennifer Micó), The Urbanist, 2019.1.3, <https://www.theurbanist.org/2019/01/03/what-does-it-take-to-create-great-cities/>
- 40) 日経BP「未来コトハジメ〜社会課題解決のアイデアバンク〜」都市の未来 vol.60 (2021.05.11)「農ある暮らし」へ、西東京市の挑戦 [https://project.nikkeibp.co.jp/mirakoto/atcl/city/h\\_vol60/?P=1](https://project.nikkeibp.co.jp/mirakoto/atcl/city/h_vol60/?P=1)
- 41) 街の将来像 語り合う 市民100人が参加 前橋, 上毛新聞, 2021.7.4
- 42) 大井川とリニア：私の視点：開業後のまち 議論着手(インタビュー), 静岡新聞(朝刊), 2021.8.20
- 43) 建築学会 感染防止対応や可変性、多様性など幅広く議論：コロナ対応で総合研究協議会, 建設工業, 2021.9.9
- 44) リニア開業後まちづくり中間報告：静岡駅に立地の優位性, 静岡新聞, 2021.11.23
- 45) Tokyo: Reimagining the World's Largest City with Advanced Analytics, ESRI BLOG, December 7, 2021, <https://www.esri.com/about/newsroom/blog/georgia-tech-students-smart-city-tokyo/>
- 46) Tokyo: The big city that is also pleasant to live in: Surprisingly, the world's biggest city is also one of its most liveable, The Economist, December 11, 2021, <https://www.economist.com/special-report/2021/12/07/the-big-city-that-is-also-pleasant-to-live-in>
- 47) リニア「開業後」の研究進む 東京から1時間、静岡市の優位性, 毎日新聞, 2022.2.5
- 48) モードチェンジとリダンダンシーが鍵/ウィズコロナの建築・都市空間/建築学会大会で議論, 2022.9.12, <https://www.kensetsunews.com/archives/735798>
- 49) 中央通り周辺の再編を探る：市長や識者登壇、四日市でシンポ, 2022.11.28, 中日新聞, <https://www.chunichi.co.jp/article/590494>
- 50) 「四日市の未来を決める事業」、中央通り再編でシンポジウム開く, 2022.11.28, You Yokkaichi, <https://www.you-yokkaichi.com/2022/11/27/22118/>
- 51) 特別インタビュー「識者の視点」：郊外の魅力を活かす暮らし・「緑農住」まちづくりを真剣に考えるべき時期, 埼玉新聞, 2023.1.26, 特集 p.8
- 52) 人口流出、31道府県で拡大：「東京集中」少子化招く懸念, 2024.1.30, 日本経済新聞, <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA297V90Z20C24A1000000/>
- 53) 名古屋、「住みたい都市」へ容積率緩和：コンパクト化狙う, 2024.2.25, 日本経済新聞, <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOFD19A3H0Z10C24A2000000/>

## ■雑誌・広報誌記事掲載状況

- 1) 対談(村山顕人×浅野健), 都市研究所スペースシア社外報告「ラブダブ(RUBADUB)」, 第24号, 2021年1月
- 2) 政策特集: JR 亀山駅周辺整備事業 (vol.1) ~魅力とにぎわいある玄関口の再生へ~: 都市計画を専門とし、亀山市総合計画審議会会長の村山さんのコメント, 広報かめやま 2017.7.1号, p.3
- 3) “人々の暮らす場”が実験室: 未来の都市・街をつくる, Innovator Next: 未来を創る東大工学部, 日経 BP ムック「変革する大学」シリーズ, pp.34-35, 2017.12

## ■テレビ・ラジオ・インターネット出演状況

- 1) 「週刊 GLOCAL EYE」特集 「四日市中心市街地について」, CTY コミュニティチャンネル, 2012.6
- 2) Deutschlandradio, 2013.7.15 (ドイツで開催された国際会議 CCRR-2013 で受けたラジオ取材)
- 3) NHK 東海ニュース, 2014.2.11 (THE 討論! 『ナゴヤ版』 減災まちづくりを考える) とその関連のワークショップ)
- 4) 中京テレビニュース, 2014.2.11 (THE 討論! 『ナゴヤ版』 減災まちづくりを考える) とその関連のワークショップ)
- 5) CBC ニュース, 2014.2.11 (THE 討論! 『ナゴヤ版』 減災まちづくりを考える) とその関連のワークショップ)
- 6) NHK ニュース, 2014.3.3 「ほっとイブニング」(名古屋放送局) 「【特集・震災】災害に強い街づくり」(三重県尾鷲市で進んでいる民間ベースの高台移転についてコメント)
- 7) NHK 東海・北陸震災キャンペーン, 2014.3.7, 「忘れない 未来のために」(三重県尾鷲市で進んでいる民間ベースの高台移転についてコメント)
- 8) ソトノバ・ラジオ #08, 2020.5.27 (パーソナリティ: 西田司・ゲスト: 村山顕人) <https://youtu.be/AhRq4yKRQGk>
- 9) NHK ラジオ第1: Nらじ, 2022.5.19, 「まちの未来を変える!? “マイクロモビリティ”の可能性」
- 10) Green innovation in Shrinking Cities | Italy-Japan Conversations, An initiative by The Japan HUB@Polito, [https://youtu.be/P\\_q1unxPZVc](https://youtu.be/P_q1unxPZVc)
- 11) 四日市「中央通り」の将来像を考えるシンポジウム, 三重 NEWS WEB, <https://www3.nhk.or.jp/inews/tsu/20221128/3070009358.html>

## ■学内における管理運営等の活動

### ◆名古屋大学

- 1) 2006 建築学教室庶務委員会委員
- 2) 2007-2008 環境学研究科学生生活委員会委員
- 3) 2008-2009 建築学教室教務委員長
- 4) 2009-2010 環境学研究科同窓会設立準備委員会/活動支援委員会委員
- 5) 2010 建築学教室主任補佐(環境学研究科都市環境学専攻長補佐)
- 6) 2010-2012 日本学術振興会研究者海外派遣基金助成金(組織的な若手研究者等海外派遣プログラム)「基礎環境学を担う若手人材育成プログラム」委員

- 7) 2011-2013 建築学教室評価・FD 委員(2013 は主担当)
- 8) 2010-2013 建築学教室教務委員会委員
- 9) 2011-2013 環境学研究科情報室運営小委員会委員
- 10) 2013 環境学研究科学生生活委員会委員

### ◆東京大学

- 1) 2015.4- 工学部都市工学科都市計画コース演習委員長
- 2) 2015.10-2016.3 学術戦略室補佐
- 3) 2016- 工学系研究科附属水環境制御研究センター運営委員
- 4) 2017.2.24 KAKEHASHI Project 2016 受け入れ担当
- 5) 2017 大学院教育問題検討委員会委員
- 6) 2018-2020 工学系研究科都市工学専攻留学生担当教員
- 7) 2021- 東京大学キャンパス等長期構想ワーキンググループ  
都市計画サブワーキンググループ委員

(西暦のみは年度を示す。)

以上